

# 令和5年度 事業報告書

## 社会福祉法人さわらび会

介護老人福祉施設早蕨  
デイサービスセンター樹蔭  
デイサービスセンター庵  
ホームヘルプステーションあおやぎ  
居宅介護支援事業所さわらび  
地域連携室さわらび

# 令和5年度 介護老人福祉施設 早蕨 短期入所生活介護 早蕨 事業報告書

## 1. 令和5年度 基本方針

### (1)感染症予防

- ① 新型コロナウイルスやインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症予防の為、職員には、換気・検温・手洗い・消毒・マスク着用及び行動履歴を残す等の感染予防対策に取り組む。又、ワクチン接種の可能な利用者・職員は出来る限りワクチン接種の協力を促す。
- ② 新規入居者やショートステイ利用者は、利用前に検温や体調確認及び家族等の健康確認を行い、利用を開始する。利用中も1日2回の検温等を実施し、感染症の早期発見・早期対応に努める。
- ③ 日々の清掃及び消毒の実施や1日5回以上の室内換気及びCO2センサーの設置運用など清潔な環境整備に努める。

### (2)人材確保（採用・定着・育成）

- ① 慢性的な介護従事者不足が課題である。そのため、ハローワークや各種職能団体への求人活動だけでなく人材紹介、派遣業者等あらゆる方法を検討し、採用募集に取り組む。又、採用時には、ミスマッチングが無いよう適正な面接実施や事前見学・トライアル制度の活用等を行う。
- ② 介護技能実習制度による外国人介護職員を確保に取り組む。
- ③ 新人職員には、入職時に新人研修を実施し、所属長や教育部が計画的に関わり、習熟度の確認や職場環境への不安や疑問等が無いか助言やフォローを行う。
- ④ 施設内外の研修に計画的に参加することで知識・技術及び自信が身に付くよう指導する。

### (3)リスクマネジメント

- ① 介護中の事故や誤薬ゼロを目指す。ケアの統一を図り利用者に負担のないケアを提供する。又、個別の心身状態の把握にも努め、個々の利用者のリスクも把握する。
- ② 服薬に関しては、ヒューマンエラーが起きる事を前提に担当する職員は、配薬・服用マニュアルの厳守を務め、誤薬が発生しないように取り組む。
- ③ 安全対策担当者を中心に毎月の事故報告書やヒヤリハット報告書を分析し、同事故・類似事故の再発防止に努める。又、職員には、年2回の研修（法定研修）の企画・運営し、「気づき」がある職員育成に取り組む。
- ④ 事故や虐待の温床になる不適切ケアの廃止に積極的に取り組む。施設長や所属長、各担当の毎日ラウンドや虐待防止委員会でケア項目毎に不適ケアの現状確認を行い、課題があれば組織的に改善に取り組む。

## 2. 令和5年度 稼働率目標

### (1)特養・短期・空症ショート合計稼働率：96.44%

令和5年度は、健康管理と感染症予防対策を徹底し、入院日数の減少や空床ベットの積極的な活用に取り組むことで、合計稼働率96.44%（1日86.4名）を目標とする。

### (2)特養入居稼働率：96%

優先入居の観点から長期待機者の状態を再確認できる体制を確保し、利用者待機者の状況把握に努める。これにより入居検討会時、現在入居されている利用者へのサービス水準の確保と施設見学・相談に随時対応することで新たな入居者への対応も可能とするように総合的に努める。

### (3)短期・空床ショート稼働率：100%

新規、利用中の利用者が継続して利用をして頂けるように現場職員とも連携を図る。他居宅事業者との連携、感染状態、在宅での介護実態等を踏まえて必要に応じて柔軟な対応に努める。又、家族との良好な関係性の維持や行事や日々の関わりより利用者満足に繋げリピーター確保に努める。緊急での問い合わせにも多職種連携して柔軟な受け入れ態勢に努める。

令和5年度 基本方針・稼働率目標に基づき、次のような活動を行った。

## 令和5年度事業報告

### 1. 事業内容

(1)入居定員 90 名 (介護老人福祉施設早蕨 80 名、短期入居生活介護早蕨 10 名)

階	居室タイプ	居室数	定員数	備考
2 階 (36 名)	個室	8 室	8 名	和室 1 室
	2 人部屋	8 室	16 名	和室 1 室、SS4 室
	4 人部屋	3 室	12 名	
3 階 (54 名)	個室	18 室	18 名	
	2 人部屋	10 室	20 名	和室 1 室、SS1 室
	4 人部屋	4 室	16 名	

(2)職員体制 (令和6年3月31日現在)

(単位：人)

	人数		合計	資格
	常勤	非常勤		
施設長	1		1	社会福祉施設長資格
事務長	1		1	
事務員	2	1	3	
生活相談員	1		1	
介護支援専門員	2	1	3	介護支援専門員
看護職員	4	2	6	看護師 准看護師
介護職員	31	8	39	介護福祉士 27 名、実務者研修 1 名
機能訓練指導員	1		1	准看護師
管理栄養士	1		1	管理栄養士
調理師	6	1	7	調理師 6 名
家事援助員		5	5	
洗濯・清掃員		5	5	
医師 (内科医師：非常勤)		2	2	
合計	50	25	75	—

(3)採用・退職

	令和5年										令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
採用	正職		1		1	1		1				1		5
	臨時	1				3		1	1				1	7
	パート	1	1		1						1	2		6
	派遣	1		1	1									3
退職	正職		1			1	1	2						5
	派遣					1	1							2

(4)職員法定健康診断 (腰痛健康診断含む) (単位：人)

	延べ人数
一般健康診断	65
新規採用者健康診断	13
腰痛健康診断	94

### 2. 利用者状況 (介護老人福祉施設)

(1)市町村別・性別・年齢別入居状況 (令和6年3月31日現在)

	男性	女性	合計	平均年齢		
				男性	女性	平均
高知市	7	66	73	72.8	90.4	88.7

南国市		2	2			
香南市		2	2			
安芸市	1		1			
佐川町		1	1			
土佐市		1	1			
合 計	8	72	80			

(2)月別退所状況及び退所先

月別	人数	退所先			
		医療機関	施設	在宅	死亡
令和5年	4月	1	1		0
	5月	2	2		0
	6月	2	2		0
	7月	3	1		2
	8月	4	3		1
	9月	4	4		0
	10月	1	0		1
	11月	2	2		0
	12月	1	1		0
令和6年	1月	2	2		0
	2月	1	1		0
	3月	1	1		0
合 計	24	20	0	0	4

(3)入居利用者の介護度（令和6年3月31日）

要介護度	男性	女性	合計	構成比
要介護3	1	7	8	10.0%
要介護4	6	48	54	67.5%
要介護5	1	17	18	22.5%
合 計	8	72	80	100.0%

※特別養護老人ホームの対象者は、原則、要介護3以上

3. 利用者状況（短期入所生活介護）

(1)利用者実人数

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
高知市	21	32	31	35	38	33	36	37	36	33	32	31	395

<前年度：348名>

(2)延べ利用人数

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
高知市	248	327	321	395	378	331	332	308	376	371	337	282	4,006

<前年度：3,220名>

4. 令和5年度 利用者数

(1)介護老人福祉施設

(単位：人)

		令和5年					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護給付	要介護3	174	184	180	168	178	142
	要介護4	1,575	1,577	1,573	1,502	1,495	1,524
	要介護5	619	616	561	564	573	630
	合計	2,368	2,377	2,314	2,233	2,246	2,296
延べ定員数		2,400	2,480	2,400	2,480	2,480	2,400
稼働率 (%)		98.7	95.9	96.4	90.0	90.6	95.7

		令和5年			令和6年			合計
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
介護給付	要介護3	155	150	155	155	127	156	1,923
	要介護4	1,602	1,534	1,572	1,576	1,519	1,649	18,698
	要介護5	617	615	606	607	559	596	7,163
	合計	2,374	2,299	2,333	2,338	2,205	2,401	27,784
延べ定員数		2,480	2,400	2,480	2,480	2,320	2,480	29,280
稼働率 (%)		95.7	95.8	94.1	94.2	94.3	98.1	94.9

(2)短期入所生活介護

(単位：人)

		令和5年					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
予防	要支援1.2		12	2			9
介護給付	要介護1	14	36	28	57	91	56
	要介護2	35	65	72	89	76	85
	要介護3	135	142	145	148	108	95
	要介護4	36	51	55	73	68	41
	要介護5	28	21	19	28	35	45
	合計	248	327	321	395	378	331
(併設延べ人数)		243	289	282	294	287	283
(空床延べ人数)		5	38	39	101	91	48
延べ定員数		300	310	300	310	310	300
併設稼働率 (%)		81.0	93.3	94.0	94.9	92.6	94.4
合計稼働率 (%)		99.2	105.5	107.0	127.5	122.0	110.4

		令和5年			令和6年			合計
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
予防	要支援1.2			8	2	13	2	48
介護給付	要介護1	18	15	48	54	32	27	476
	要介護2	78	87	66	62	55	230	800
	要介護3	143	136	152	138	166	130	1,638
	要介護4	33	39	58	62	43	75	634
	要介護5	60	31	44	53	28	18	410
	合計	332	308	376	371	337	282	4,006
(併設延べ人数)		298	281	299	288	267	260	3,371
(空床延べ人数)		34	27	77	83	70	22	635
延べ定員数		300	310	300	310	290	300	3,640

併設稼働率 (%)	96.2	93.7	96.5	93.0	92.1	83.9	92.13
合計稼働率 (%)	107.0	102.7	121.3	119.7	116.3	91.0	110.8

5. 入所待機者の状況 (令和6年3月31日現在)

市町村名	人数	待機場所			
		医療機関	施設	在宅	その他
高知市	176	103	34	38	1
南国市	7	1	4	2	
香南市	1		1		
安芸市	2	1	1		
佐川町	1	1			
いの町	2		2		
土佐市	3	3			
四万十市	2	1	1		
室戸市	1	1			
芸西村	1	1			
三原村	1	1			
中土佐町	2	1		1	
合計	199	114	43	40	1

6. 研修実施状況

(1)外部研修 (Zoom研修も含む)

実施日		場 所	研修内容	参加数	
令和5年	4月	28日	Zoom	高齢者福祉施設・事業所における虐待の防止	7
		28日	ふくし交流プラザ	高知県カントリーミーティング	2
	5月	26日	高知市保健福祉センター	高知市介護支援専門員 キャリアラダーモデルに関する研修	1
	7月	7日	総合安心センター	高知市「入・退院時の引き継ぎルール」	1
		28日	総合安心センター	南部地域ケアカンファレンス 「ゴミ屋敷問題」	1
	8月	8日	Zoom	認知症ケア研修	1
	9月	4日	ザクラウンパレス新阪急	令和5年度高知県経営協セミナー	2
		13日	ふくし交流プラザ	福祉サービス苦情解決セミナー	2
		13日	ポリテクセンター高知	令和5年度高知県介護職員等喀痰吸引指導者講習	1
		25日	のいちふれあいセンター	ノーリフティングケア実技研修 マイスター取得	2
		25日	のいちふれあいセンター	ノーリフティングケア実技研修 基礎	1
	10月	11日	高知市保険福祉センター	防災研修	1
		13日	Zoom	高知県民間社会福祉施設職員年金支給事務説明会	1
		18日	サンピアセリーズ	安全運転管理者講習	1
		20日	Zoom	ケアプランデーター連携システム	1
		29日	高知市保険福祉センター	資質向上研修会	1
		31日	Zoom	通所サービス事業所屋外のサービス提供に関する研修	3
	11月	15日	高知市保健福祉センター	高知市ケアマネジメント研修会	1
		27日	かわさき予備校ビル	ノーリフティングケア実技研修 基本	2
		29日	ふくし交流プラザ	認知症の人の意思決定支援	1
	12月	10日	Zoom	認知症介護 基礎研修	1
		12日	総合安心センター	高知市訪問型サービス事業実践報告	1
		12日	総合安心センター	職場におけるパワハラ・モアハラについて	1
		13日	Zoom	家族介護を支える地域包括研修	1
15日		高知城ホール	育成スキルアップ研修	1	
15日		Zoom	ケアマネと地域医療連携室との意見交換会介護	1	
令和	12月	21日	総合安心センター	令和5年度 施設内感染症対策研修会	3
		21日	Zoom	社会福祉法人・公益的な取組推進フォーラム	2

6年	1月	12日	Zoom	高知県高齢者虐待防止・権利擁護研修	4
		19日	ふくし交流プラザ	技能実習指導員講習会	3
		26日	Zoom	中央Aブロック 介護支援専門員勉強会	3
	2月	8日	東部健康福祉センター	2月東部ブロック会	1
		21日	ふくし交流プラザ	社会福祉施設総合保険制度説明会	3
		26日	ザクラウンパレス新阪急	令和5年度高知県経営協セミナー	2
		28日	ザクラウンパレス新阪急	2024 介護報酬改定セミナー	4
	3月	13日	東部健康福祉センター	2月東部ブロック会	1

<延べ参加者数：65名(内オンライン11回)>

## (2)内部研修

実施日		場 所		研修内容		参加人数	
令和5年	4月	28日	集合	部会	ノーリフトケアについて	18	
		19日	集合	全体会	食と口腔ケアについて、誤薬について	19	
	5月	23日	集合	部会	スカイリフト説明・事故防止・虐待・身体拘束廃止について	20	
		10日	集合	全体会	感染症予防について	20	
	6月	27日	集合	部会	技能実習法の意義・目的	17	
		21日	集合	全体会	災害対策BCP(事業継続計画)について	20	
	7月	25日	紙面	部会	感染症対策について	20	
		19日	紙面	全体会	ノーリフトケアについて	42	
	8月	22日	紙面	部会	認知症ケア	38	
		16日	紙面	全体会	高齢者虐待及び身体拘束廃止、事故防止	42	
	9月	26日	紙面	部会	接遇、コミュニケーションについて	36	
		20日	紙面	全体会	施設理念、コンプライアンスについて	42	
	10月	24日	紙面	部会	褥瘡、予防ケアについて	39	
		18日	紙面	全体会	感染症予防について	42	
	11月	28日	集合	部会	服薬管理、服薬支援について	22	
		15日	集合	全体会	高齢者の方とのコミュニケーション法	22	
	12月	26日	集合	部会	不適切ケアについて	17	
		20日	集合	全体会	医療の知識、高齢者の疾患について	17	
	令和6年	1月	23日	紙面	部会	食と口腔について	40
			17日	紙面	全体会	高齢者の楽しめるレクリエーション	42
2月		27日	紙面	部会	ケアプラン勉強会	41	
		21日	紙面	全体会	高齢者虐待及び身体拘束廃止、事故防止	42	
3月		28日	紙面	部会	サービス向上委員会(排泄)	41	
	13日	紙面	全体会	認知症ケアについて	42		

<延べ参加者数：741名>

## 7. 委員会活動実績

各委員長を中心に事前に予定(場所・時間・内容)を決め招集を図り、法定委員会・運営委員会を定期開催に行う事が出来た。又、コロナ禍により自宅待機等で担当職員の出席が難しい場合、代理出席・紙面会議の方式で対応し、年間を通じて開催を行う事が出来た。継続的に開催を重ねる事により、責任感や取り組み姿勢、書類作成、多職種連携が図れ、業務の統一等サービス向上に繋がった。

### (1)法定委員会

#### ①感染対策委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	・利用者感染リストの更新(コロナ、インフル、血液) ・感染状況の確認及び予防対策の検討
	介護職員	看護職員	

	管理栄養士		(肺炎球菌感染の対応含む) ・各事業所や部門からの報告及び質問事項
	特養外：樹蔭、居宅		

- ・毎月、利用者の感染キャリアリストを作成し、感染状況の確認を行う。又、定期的に理事長より新型コロナウイルス感染情報（資料有）の説明と質疑応答を行い、感染予防意識の向上に努めた。
- ・職員・利用者共にPCR検査・抗原検査を発熱時に実施した内容の報告を行った。
- ・新型コロナウイルスの感染動向や行政情報の確認及び感染予防対策を検討した。
- ・在宅部門（デイ、ヘルパー、居宅）との情報共有や感染予防対策を検討した。
- ・肺炎球菌感染症罹患者の対応とワクチン接種希望者への接種実施の報告を行った。

## ②褥瘡委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡基本データを基に個別に対応経過の検証</li> <li>・ベットマット、エアーマットの使用状況の報告・確認</li> <li>・医療機関との連携検討</li> </ul>
	管理栄養士	看護職員	
	介護職員		

- ・多職種で情報共有し、治療やケアの方向性を検討した。
- ・褥瘡のレベルによって医療機関と連携し、治療や処置を行った。
- ・皮膚状態の異常の早期発見に努め、適宜ベットマットの変更を行った。

## 褥瘡発症者（入院治療中の利用者も含めた数）

（単位：人）

		令和5年									令和6年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発症者	2階		1	1				1			2	2	2
	3階	2	4	2	4	4	4	4	3	3	2	3	3
	合計	2	5	3	4	4	4	5	3	3	4	5	5
レベル	I度							2		1	1	1	1
	II度	2	5	3	4	4	4	3	2	2	2	3	3
	III度								1		1	1	1

- ・毎月、創部の経過報告、主治医指示内容の確認、ケア方針、補食の必要性等、多職種参加で検証を行った。又、必要に応じサービス担当者会議の開催の指示を出した。
- ・褥瘡基本データを基に適正にベットマットの使用が出来ているのかりリストを基に検証を行った。
- ・低栄養・体重減少者を把握し、家族と連携を図りながら補食の提供を行った。
- ・令和6年3月末現在5名の入居者は医療機関と連携を図り現在も治療を行っている。

## ③安全衛生委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養職員の健康状態の把握</li> <li>・在宅職員の健康状態の把握</li> <li>・健康保持、向上への指導・助言</li> <li>・業務上の安全衛生に関わる設備の改善や修理</li> </ul>
	事務長	介護主任	
	特養外：居宅		

- ・毎月、担当者より職員の心身状態の報告を行い、産業医・医療機関との連携（受診の有無など）を図り、対象職員にあった休息や業務内容の組み立てを検討した。
- ・腰痛予防ではノーリフト推進委員会と連携し取り組みを行った。具体的には福祉用具の導入、腰痛体操を推進する事により発症者の軽減を図る事が出来た。

## ④事故防止検討委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故報告、ヒヤリハット1・2の集計分析</li> <li>・類似事故の再発防止策の検討及び指針の整備</li> <li>・事故発生防止研修の企画・実施</li> </ul>
	教育指導主任	安全対策担当	
	看護職員	介護副主任	

- ・各階の事故及びヒヤリハットの種類や場所、時間等に整理し、発生状況の分析・検証を行った。

又、類似事故等が発生していなか確認し、対応策が適切に実施されているかを検証した。

- ・事故の防止を目的として、インシデント（気づき）シートの活用を開始し、職員の気づきが増えてきた。
- ・重大事故に繋がった事故は、多職種連携で再発防止に向けた研修の立案・実施を行った。

#### ⑤虐待防止委員会 ⑥身体拘束廃止委員会（合同開催）

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者虐待・身体拘束実施の有無の確認</li> <li>・不適正ケアの確認及び改善策の検討</li> <li>・意見箱の設置や家族アンケートの実施</li> </ul>
	教育指導主任	安全対策担当	
	看護職員	介護副主任	

- ・施設内での高齢者虐待及び身体拘束の事例が発生していないかを毎月確認した。又、高齢者虐待の温床に成る不適ケアの実態を場面毎に検討し、不適切ケアに関しては、部会開催時に事例を元にグループワークを行い職員の意識「気づき」を高めた。
- ・意見箱の投函者への聞き取りを行い、委員会で改善策を検討し、投稿者への説明・同意を行い、必要時に応じて家族への説明も行った。苦情に関して双方の聞き取りを行い、迅速な対応する事で和解に繋がり職員全体へ苦情内容と改善策の周知徹底を実施した。

#### ⑥給食委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嗜好調査や残食、聞き取りから給食への意向を確認し、献立や調理方法の検討</li> <li>・行事や日々の食事提供での連携を図る</li> <li>・食事形態の一覧の更新</li> <li>・新規利用者の食事形態の周知</li> </ul>
	調理師	管理栄養士	
	介護職員		
	特養外：樹蔭職員		

- ・嗜好調査や残食、聞き取りから給食への意向を確認し、利用者が好む献立の確認や食べやすい献立の検討を行った。
- ・適温適時の配膳のため、配膳時間の調整や遅食者への対応方法の連携に努めた。
- ・食中毒予防のための啓発や指導・連携に努めた。
- ・パントリー内での利用者食べ物を個別カゴにて管理を行い、消費期限の確認と提供を行った。

#### ⑦定例入所判定会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	第三者委員	施設長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者委員へ待機者情報の報告及び入院者の状況報告</li> <li>・毎月の入所判定会実施状況の報告及び確認</li> <li>・入居者の生活状況や施設の感染予防対応の現状報告</li> </ul>
	藤崎センター長	生活相談員	

- ・毎月、ふれあいセンターへ出向き、前月の入退居状況の報告と待機者の状況報告を行った。地域での困りごとに耳を傾け、住み慣れた地域で生活ができるよう意見交換を行った。

#### ⑧苦情解決委員会

開催月	出席者		主な議題
年1回	第三者委員	理事長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者委員へ1年間の苦情報告</li> <li>・地域からの相談への対応の報告とその対応への助言</li> </ul>
	生活相談員	施設長	

- ・令和5年度は多様な情報から解釈の違いで誤解が生じたケースや施設のコロナ感染対策期間について十分な連絡できてなかった点等の説明不足の反省を報告。状況の変化の中で不安もあった内容である為、今後も信頼関係を築き誠心誠意努めるよう意見を頂いた。

#### (2)運営委員会

##### ①ケアプラン委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	施設長	ケアマネ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラン内容に対して多職種からの意見検討</li> <li>・介護認定更新に関する対応報告</li> <li>・利用者及び家族からの思いの反映方法の検討</li> </ul>
	機能訓練	看護職員	
	介護職員	管理栄養士	

- ・新型コロナウイルス感染予防対策で、担当介護職員の自宅待機のため担当者会議への参加は減少

となったが、担当介護職員からの聞き取り、紙面報告や伝達を行いプラン内容への反映や実施の周知を行った。

- ・家族にプラン郵送時、意見返信覧を添付、家族からの思いや意見等の返信が届くようになった。又、電話連絡時だけでなく、ガラス越し面会時等にも家族の思いを聞き取るように取り組んだ。
- ・口腔衛生の管理について基本サービスとして、口腔の健康状態に応じて協力歯科医師指示と連携し、ケアプランの中に記載し計画的に行なう事ができた。
- ・コロナ禍での新たなサービス担当者会議の形としてガラス越し面会時等での参加が行えないか家族への働きかけ等も含め検討を行った。

## ②防災委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	施設長	防火管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回実施の防災訓練内容の検討</li> <li>・備品（ヘルメット・防災頭巾等）の総数・保管の確認</li> <li>・コンセンートの点検確認（年3回）</li> <li>・防災備蓄食料の確認（毎月）及び更新</li> <li>・非常避難路の確認</li> </ul>
	管理栄養士	介護主任	
	看護職員		
	特養外：樹蔭、居宅		

- ・令和5年度は、6月に日中想定地震避難・火災訓練。11月に日中想定地震避難訓練。2月に夜間想定地震避難・火災訓練を実施した。内6月の訓練では、消防の立会と福祉避難所の指定に伴い地域の方を招いての合同訓練を行った。
- ・毎月の防災備蓄食料の確認を行い、適切に賞味期限内に入替えが出来た。また、防災訓練実施時期には、火災防止のためのコンセント点検やヘルメット等の防災備品の確認や保管場所の検討等出来た。

## ③サービス向上委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	施設長	看護職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、口腔ケア、排泄、入浴に関するサービス提供の確認と見直しの検討</li> <li>・改善項目・直近課題の対応の検討</li> </ul>
	管理栄養士	介護職員	
	看護職員		

- ・（排泄）利用者に適切なパッドを使用出来るよう定期的に見直しを行った。陰洗ボトルを追加購入し一日一回の陰部洗浄を定着させた。排泄のアドバイザーを招きオムツ・パッドの当て方を役職者が再確認し後に紙面で全職員へ伝達した。
- ・（入浴）二カ月に一回入浴について意見交換を行い足浴の物品購入や洗身中の足浴等、快適な入浴に取り組みを進めた。又、午後浴を積極的に取り入れる事で入浴時間の確保を図っている。
- ・（食事）トロミの種類の変更に伴い職員での試飲を行い、新しいトロミに対するコップ1杯に対する使用量の見直しと同時にコスト削減に繋がった。
- ・（口腔）うがいが難しい方に対して清涼感のある口腔内の拭き取りシートの購入等、口腔の質の向上を図った。又、全体会で職員に口腔伝達発表を行った。

## ④エコ委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	施設長	事務員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気、水道等を適正に使用しているか毎月確認</li> <li>・設備の修繕や整理整頓の確認及び啓発</li> <li>・エコマック（生ごみ肥料）の管理</li> <li>・計画的な備品点検と台帳管理や報告</li> </ul>
	教育	介護職員	
	特養外：樹蔭、居宅		

- ・電気やエアコン等、気温等管理し必要時以外は、スイッチを切る様、適宜伝達している。
- ・季節の変わり目には、衣替えを行い、季節にあった衣服を来てもらう事で気持ち良く生活できる様管理している。
- ・破損物があれば速やかに修繕依頼を提出するよう取り組んだ。
- ・車椅子、ベッドを管理番号で管理し不具合がある場合には、まず現場で不具合の調整をし、修理が必要な際は、速やかに修繕依頼を提出するよう取り組んでいる。（3階の車椅子に関しては、故障車が14台あり、換えの車椅子がない等の課題があったが随時対応を行った。令和6年度は調整し随時修繕依頼を提出するようになる）
- ・職員の移動等あり、3階に委員不在期間があった為、連携がとれていない部分もあった為、令和

6年度は連携し委員の職務を遂行していく。

⑤元気生きがい委員会

開催月	出席者		主な議題
偶数月開催	施設長	生活相談員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間行事予定の立案やクラブ活動等の企画検討</li> <li>・利用者間の交流の場の検討</li> <li>・利用者自身のやってみたい事の検討</li> <li>・関係部門、ご家族等への調整や環境整備の検討</li> </ul>
	機能訓練	介護職員	
	特養外：地域連携室		

- ・季節の風物詩をテーマに委員会で話し合い、季節の移り変わり時のイベント参加や外出等で日常生活を楽しんで頂けるよう実施した。4 桜花見、5 月田植え見学 10 月ワールドドリームサーカス高知公演に参加、コスモス見学(くろしおアリーナ)参加等久しぶりの外の景色や風にあたり皆様の笑顔満開であった。「楽しかった。」との声が多く職員も一緒に楽しむことが出来た。
- ・新たなレクリエーションの企画として誰でもが積極的に参加できる行事や利用者様が楽しみを持って生活出来るよう今後も取り組んでいきたい。

< 令和5年度 年間行事实施状況 >

日程	行事内容	実施状況	
令和5年	4月	お花見	護国神社へ桜花見 14名
	5月	田植え見学	五台山小学校の子供達の田植え見学 6名
	6月	あじさい見学	雨天のため中止
		新緑ツアー	雨天のため中止
	7月	花火	特養のみで規模縮小(各階に分けて)し実施
	8月	五台山夏祭り	五台山夏祭りは開催したが感染予防のため外出中止
	9月	納涼祭兼敬老会	長寿のお祝い、外部から花魁ダンス、職員の出し物を実施
	10月	観月祭	天候悪い為、室内でお月見用の花を飾りおやつを楽しむ
		ワールドドリームサーカス高知公演	3回に分けて公演に11名参加。感激する。
11月	コスモス見学	20日、21日くろしおアリーナ駐車場に下車し14名	
12月	クリスマス忘年会	規模縮小(各階に分けて)し実施	
令和6年	1月	新年会	職員扮する獅子舞を各階で実施し感動される
	2月	節分	各階で実施
		バレンタインケーキバイキング	実施(おやつ時)
3月	ひな祭り	職員扮するおひな様に大喜びする	

< 毎月の行事 >

- ・ホーム喫茶
- ・料理クラブ
- ・誕生日会
- ・茶道クラブ
- ・買物

< 毎週の行事 >

- ・華道クラブ
- ・植物への水やり(鑑賞)

⑥ノーリフト推進委員会

開催月	出席者		主な議題
奇数月開催	施設長	教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノーリフトケアに関する知識・技術の習得の検討</li> <li>・利用者サービス提供の検討</li> <li>・必要物品の点検と管理</li> <li>・多職種への働きかけ及び連携</li> </ul>
	管理栄養士	介護職員	
	ケアマネ	看護職員	
	機能訓練		

- ・利用者、職員に負担の少ない介護「持ち上げない」「抱え上げない」「引きずらない」ケア継続した。
- 福祉用具導入(吊り上げ式リフト、スタンディングリフト、スリングシート、多機能型車椅子等)、朝の腰痛体操を継続し、多職種でアセスメントしスライディングボード(8名)、リフト(8名)スタンディングリフト(7名)を使用した。結果、職員・利用者共に負担の少ないケアを行う事が出来、腰痛を訴える職員も激減した。

環境整備では、ベッド・車椅子を入居者に合った物を選定する等の見直しを図った。リフト、ボードの技術確認の再指導に取り組んだ。又新規入職者に対しての理解、知識の周知、福祉用具の技術指導も行った。

## 8. 各部門の取り組み

### (1) 教育部

- ① 基本理念や行動指針に沿ったサービスが出来るよう、基本理念や行動指針を職員全員に浸透させる為、毎朝の申し送り時に、各部署担当者が代表となり参加者全員で基本理念の唱和を継続する事が出来た。
- ② 認知症教育では認知症リーダー研修修了者を中心に令和5年8月（特養部会紙面）、令和6年3月（全体会紙面）にて認知症ケア等について学びを深める機会を設ける事が出来た。又、直近課題に対しては階層別に検討会を行った。
- ③ 施設内研修では、紙面研修7回、集合研修5回を実施した。9月の研修ではコロナクラスター発生後であり、新型コロナウイルス感染症をテーマに、各種データに基づく情報分析した事柄を今後活かせる内容で行えた。施設外研修では、感染症予防を行いながら前年度より集合研修にも多く職員が参加し、階層、各職種別にもスキルアップに取り組んだ。
- ④ 事故や苦情のリスク発生に対しては、安全対策担当者、相談員、介護主任と共に事故、苦情報告書の作成、職員指導・フォロー及び家族対応を行った。
- ⑤ 令和5年9月インドネシア（バリ島）より介護技能実習生（2名）受け入れし介護部と連携を図り技術教育・生活指導を行い日勤業務（変則含む）行う事が出来た。出勤時には日本語等を学び12月試験（N3）に臨んだが結果（不合格）であり次回R6年7月に再チャレンジを行う。令和6年3月介護技能実習評価試験（初級）筆記・実技を受け実習生2名共に合格する事が出来た。令和6年5月にはインドネシア（バリ州）より新たな介護技能実習生2名の受け入れもあり、新たに介護副主任3名が技能実習指導員講習に参加した。

### (2) 介護

【2階】2階ベランダでの植物育成を職員と共に行った。また、行事の中で外出行事や施設内行事に他職種、他部署と協力し行う事で、社会との交流や利用者同士の交流を行う事が出来た。

【3階】本館と新館に分けたグループケアに取り組み、ゆとりのある空間を作る事で、ゆっくりと食事時間を設ける事が出来た。又、スキントラブルや体調変化が見られた時は、医務と情報共有を行いながら、早期の発見や対応を行う事が出来た。

#### ① 生活全般

利用者の生活を継続していく為に楽しみや役割を持って生活を送れるよう、生活の場では植物への水やりや育成を職員と共に行った。感染状況を見ながら、花見やコスモス見学への外出行事に取り組めた。また、施設行事も小規模ながら開催する事が出来た。

#### ② リスクマネジメント

行政報告の介護事故は、11件と前年度に比べ微減した。内訳として誤薬事故6件、骨折と剥離5件となっている。事故の発生後、事故検討会議を開催し、事故の原因、分析、対応策の検討を行った。検討した内容を高知市への提出後、書面での全職員に回覧し、再発防止の周知徹底を図った。又、インシデント（気づき）シートを活用し、危険を未然に察知する様、情報の共有を行った。苦情は、3件であった。内容としては、職員の言葉掛けに説明不足などがあり、思い込みによる誤解となるケースが増加した。又、利用者との関わりの中、誤解や不適切なケアにならないよう日頃から接遇マナーや認知症ケアの指導を行った。

#### ③ 人材(財)育成

職員個々への聞き取りを行い、勤務や業務内容の調整を行った。新人(経験者)職員育成については出来るだけ1対1での関わりを持ち、育成状況の確認を行い、人材育成に努めた。

内部研修だけでなく、Zoom研修を含む外部研修にも積極的に参加をし、資格取得にもつなげる事が出来た。

新たな勤務形態の取り組みとして、準夜勤、深夜勤夜勤を配置し、常勤職員の人員確保や業務負担の軽減を図った。又、詰所の配置換え等環境整備に取り組み、職員が動きやすい導線を構築した。

#### ④ 感染症対策

新型コロナ感染症については職員が感染対策への高い意識を持ち、健康管理を行う事で、施設内への感染症の持ち込む事はなかった。利用者に感染症の症状が見られた際には医務と連携し、情報を共有する事が出来た。

⑤技能実習生受け入れ

令和5年8月よりインドネシアより2名の介護技能実習生を受け入れる。日本の文化、風習や生活習慣の指導を行った。現在は、技能実習指導員と生活指導員を中心に指導を行い、一人での利用者援助や信頼関係の構築を出来る様になった。

(3)看護

医療連携病院がいずれの病院となり、往診や受診（検体受診を含む）の体制を整え、利用者の異常の早期発見と対処に努めた。健診やワクチン接種連携病院はきんろう病院となり、健診やワクチン接種が円滑に行えるよう連携体制を整えることができた。感染対策では令和4年度のコロナのクラスター発生の教訓を生かし、利用者がコロナやインフルエンザに罹患することなく施設内で安全に過ごしてもらえよう努めた。

① 服薬

指示のもと個別に利用者の健康保持・増進をはかり異常の早期発見とその対応に努めた。服薬管理の徹底と誤薬事故防止については、投薬時に服用完了の確認・新規の投薬箱に名前を明記・介護職員用の服用者名簿の作成・医療事故発生時の手順の見直しを行った。また、服薬マニュアルの変更も行い、服薬事故防止に取り組んだ。

② 感染症

コロナ・尿路感染症など施設で起こりやすい感染症について集合研修の実施、ケアの見直しを行い感染予防の啓発に努めた。又、肺炎球菌による肺炎罹患者が多発した時には異常の早期発見と受診や入院対応を迅速に行い、鎮静後肺炎球菌ワクチン接種の希望者には接種を施行した。

③ 多職種連携

日中は、午前・午後のバイタル測定を実施し体調変化の把握に努め、申し送りや現場で情報共有し必要な対処をした。又、夜間は、オンコール体制で夜勤者と連携を図った。陰部洗浄や体位変換、換気の仕方など介護職員と連携を取りながら業務改善を行った。

④褥瘡

専門医の受診で対応し、多職種協働での褥瘡予防・改善に取り組んだ。

⑤喀痰

喀痰の施設内研修は、施設のクラスター発生で協力を得られず実習実施出来なかった。

特養入院日数状況

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計	平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
入院者数	5	7	7	12	5	3	8	5	7	6	3	7	75	6.2	
延べ入院日数	32	103	86	237	214	97	85	92	147	141	106	79	1,419	118	

特養外来受診状況（延べ人数）

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計	平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
内科	3	6	6	2	1	4	3	6	17	18	20	15	101	8.4	
整形外科	1	1	4			1	3	1		5	4	2	22	1.8	
皮膚科	1	3	1	3	11	10	8	8	7	3	2	7	64	5.3	
創傷外科	2	2	1		2	1	1	2				1	12	1	
泌尿器科					2	1	2	1	1	3	1		11	0.9	
精神科	1	1					1	4	4	6	5	3	25	2.1	
脳外科	1		1			1	2				1	1	7	0.6	
外科								2		3	1	1	7	0.6	
眼科	1				1		2		1		2		7	0.6	
循環器科											2	2	4	0.3	
合計	10	13	13	5	17	18	22	24	30	38	38	33	260	21.7	
救急搬送	2	1	2	2	2	2	5	1	1	1	3	1	23	1.9	

※前年度受診件数は、112件であったが260件と増加している。発熱者の検体受診を行い、一日に複数受診をしたことが要因となっている。緊急性がなければ往診日に診察対応している。

(4)機能訓練（リハビリ）

- ① LIFE（科学的介護情報システム）に取り組み、アセスメントを定期的（3 ヶ月毎）に厚生労働省へ送信したが、厚生労働省からフィードバック情報の返信がなかった。フィードバックされたデータを確認しながら準備に取り組んだ。
- ② 利用者の日常生活動作が維持できるよう、個別機能訓練計画書を立案。計画的に個別リハビリを実施した。又、機能訓練指導員だけでなく介護職員等に対して情報共有を図る為に、ケアプランと個別機能訓練計画書の計画書に沿った訓練内容を紙面や申し送り等で伝達を行い、実施できるよう方法の指導や確認を行う事で、利用者の日常生活動作の維持に繋がった。
- ③ 立位・移乗動作時の下肢の踏ん張り動作が困難な利用者に対して、ノーリフト推進委員会のメンバーとの連携を図り、利用者にあった福祉用具（スライディングボード・リフト）の選定を行い、移乗介助を行う事で利用者や職員共に、苦痛なく安全に移乗動作が行えた。
- ④ 転倒・転落事故発生時、利用者のアセスメントを行った。又、事故検討会を開き、事故原因を追及し対策を検討した。骨折等の症状が見られ ADL レベルが変化した場合は、サーターを開き多職種との連携を図り、対象の利用者の ADL に合わせた個別機能訓練計画書の変更を行い、個別リハビリを実施した。
- ⑤ ノーリフトケア推進委員会の委員として、職員の腰痛予防を図る為に朝の申し送り時に腰痛予防体操を実施し、職員の腰痛予防が継続出来ている。
- ⑥ 集団体操で口腔体操と口腔マッサージを実施し、実施した利用者の誤嚥性肺炎の予防と口腔機能の維持に繋がった。

特養 個別機能訓練実施延べ人数

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
訓練人数	80	80	80	80	81	79	80	79	78	78	79	80	954

<平均人数:79.5人>

短期・個別機能訓練実施実人数

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
訓練人数	17	27	27	32	31	30	30	24	30	30	28	28	334

<平均人数:27.8人>

(5)生活相談

① 特養入居

- ・入居の相談及び申込窓口として対応を行った。令和5年度の定例入所判定委員会は、毎月『介護老人福祉施設早蔵の入退居にかかる指針』に基づき、第三者委員（高須ふれあいセンター長）も参画し、入居検討委員会が透明性・公平性の確保に努めた検討・決定を行った。
- ・入居待機者の状況については、生活相談員が連絡を取り状況の確認を行った。

入居検討委員会開催実績

(単位：回)

	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
件数	1	2	2	2	4	3	3	2	2	1	2	2	26

- ・事前調査は、特に新型コロナウイルス関連の情報（対象者の健康状態、ワクチン摂取状況、家族等同居人健康状況など）の収集に努めた。厚労省より新型コロナ「2 類」→「5 類」に変更したことから在宅からの入居前の PCR 検査は令和5年3月31日で終了。その後の入居は抗原検査施行した。
- ・ガラス越し面会は週3回（月・水・金曜日の午前）実施していたが、ご家族の要望から4月からは、（火・木・土曜日の午前）に変更を行い実施した。延べ333名のご家族の面会、またオンラインでは2組の面会を行った。  
ボランティア等の受け入れは出来なかった。関係団体等には、継続的に連絡を取り関係性の維持に努めた。

- ・令和5年6月末より肺炎球菌性肺炎にての入院者が増加。回復の見込み立たず8月の退居となった。
- ・利用者預かり金については、3ヶ月毎に金銭出納簿を身元引受人へ送付し問題なく取扱い出来た。
- ・苦情窓口となり家族からケアに対する要望、日常の声掛けや関わり、身体の変化等の報告が有った多職種と連携し常日頃の状態報告を共有し家族の思いを伝えた。

#### ① 短期入所

- ・居宅からの緊急ショート相談も受入可能範囲お受けし、家族が安心して過ごせるよう、また利用者が混乱せず利用できるように各部署と連携を図り、受入れを行った。
- ・事前調査は、特に新型コロナウイルス関連の情報（対象者の健康状態、ワクチン摂取状況、家族等同居人健康、通所利用状況など）の収集に努めた。
- ・家族間でのコロナ感染や通所等で濃厚接触したとの情報からショートステイの受け入れは中止した。
- ・入院者や空床が出た場合には、各居宅介護支援事業所へ情報提供を行い稼働率維持に努めた。

#### (6) ケアプラン

- ・入居者について、心身の状態や取り巻く環境、利用者及び家族の希望等を勘案しながら、施設サービス計画書（ケアプラン）の作成に努めた。
- ・サービス担当者会議は定期的（6ヶ月）に開催し、多職種との情報の共有を図った。コロナ禍で家族参加は出来なかったが、事前に電話連絡、ガラス越し面会等を通じて家族の希望の確認を行った。
- ・ケアプランを作成した際は、利用者又は、家族に説明し同意を頂き、これに従って計画的にサービス提供を行った。
- ・入退院や褥瘡発生時及び介護事故等で心身状態の急激な変化があった際には、速やかにアセスメントを行い、状況に合ったケアプランの立案・修正を行った。
- ・利用者の重度化に伴い、優先順位として生命を優先した立案に努めました。又、尿路感染症・褥瘡関係のケアプランが増えており、多職種との情報の共有を図りながらケアプラン作成に努めた。
- ・ショートステイは、連続3泊4日以上の利用者に対し、居宅介護支援事業所からの居宅サービス計画書を基に、ショートステイの施設サービス計画書を作成した。作成した施設サービス計画書は、利用者及び家族に説明し同意を頂き、これに従って計画的にサービス提供を行った。

#### 特養ケアプラン作成実績

(単位：件)

	令和5年										令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
件数	34	32	38	33	28	33	36	26	29	34	30	30	383	

<前年度：371件>

※R4年度実績より新規入居者の増加、心身の状態変化に伴うサービスの変更もあり作成件数12件増加した。

#### 短期利用計画書作成実績

(単位：件)

	令和5年										令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
件数	8	16	14	16	12	14	9	12	15	11	10	8	145	

<前年度：126件>

※R4年度実績より作成件数19件増加があった。入居者の入院者増加による空床利用や新件のショートステイのご利用者が増えた為。

#### (7) 栄養・調理

##### ① 食事

給食委員会を毎月1回開催し、嗜好調査の結果を共有し、利用者の栄養状態、衛生管理、行事について各職種間で意見交換・検討を行い課題解決に努めた。申し送りに参加し介護部門との連携を図り、食事形態の変更等に迅速に対応出来た。

利用者ごとの咀嚼、嚥下状態に応じた食事形態や嗜好に添った食事提供に努めた。

体調不良時にはその時の状態に応じた食事形態での食事を提供出来た。

食事量の低下、嚥下状態の悪化が見られる利用者に対して、粥ゼリー、ゲル食の提供、栄養補助食品の提供を行い経口摂取の継続を行う事が出来た。

納涼祭、敬老会ではデイルームにて実施でき、納涼祭ではお弁当に加え手作りのお菓子の提供を行う事ができた。敬老会ではお祝いの松花堂弁当の提供が出来た。又、旬の食材を使用した料理、行事

食を提供し食事の面から季節を感じて頂けるように努めた。

全ての食材料について値上がりしている為、新しい献立の実施、食数の確認、発注量の見直しの頻度を増やし残食の減少に努めた。又、職員食の欠食ミスも減少しフードロスに繋がった。

②栄養

多職種協働のサービス担当者会に参加し、栄養ケアマネジメントを実施することが出来た。

利用者ごとの身体的データ及びその他の身体状態を把握し状態に合わせた栄養補助食品を選定・提供を行う等栄養状態の維持・改善に努めた。大幅な体重減少がある時は多職種と情報を共有でき、医師に相談する事で必要に応じた対応ができた。褥瘡発生者、OH スケール高度リスクの入居者には食事量・体重増減の把握・栄養状態の確認を行い、状態によりカロリーの見直し、補助食品の提供を行った。

医師の指示により療養食の提供を行い、慢性疾患の病状の安定に努めた。

③衛生管理

適正な温度管理を行い調理が実施出来た。食事時間に合わせて調理・提供することで衛生的かつ適温での食事を提供する事が出来た。

大量調理マニュアルにある衛生チェック表を活用し納入した食材の温度管理、毎月の清掃や体調管理（年1回の定期検診や月1回の検便）チェックを行い、衛生管理に努めた。

④感染対策

感染症発生時に備え使い捨て食器の備蓄を行った。発熱者には感染症のリスク度により使い捨て食器での食事提供を行い感染対策に努めている。

低栄養状態リスク(令和6年3月判定)

	令和6年3月	令和5年3月
低リスク	22名	21名
中リスク	44名	42名
高リスク	14名	17名

療養食(加算対象)

(令和6年3月)

心臓病食	糖尿病食	腎臓病食	合計
6名	6名	0名	12名

※療養食対象者が退所となり、前年度の18名から減少。

9. 防災・安全対策

(1)防災訓練

南海トラフ地震や火災災害に備え防災訓練を東消防署三里出張所、三誠産業（防災機器保守点検業者）と連携のもと、下記の通り実施した。

訓練実施日 訓練想定	訓練実施項目	参加者	
令和5年6月16日 (日中想定)	①地震発生前の身を守る行動周知（地震が来ること・頭等を守ること）し、安全確保 ②地震発生後の利用者及び職員等の安否確認 ③火災発生の確認（出火元・火災の状況）及び必要に応じた初期消火 ④出火元からの避難誘導 ⑤消防機関への通報及び連携 ⑥施設内外の設備点検の実施（建物・設備の確認） ⑦災害対策本部の設置 ⑧情報収集（利用者、職員等の状況、施設建物状況確認）し、災害対策本部への報告 ⑨水消火器を利用した消火訓練 ⑩デイ利用者と高須老人クラブの方に向けて福祉避難所の説明と炊き出し訓練	特養	職員：30名 利用者：65名
		樹蔭	職員：9名 利用者：29名
		居宅	職員：4名

令和5年11月28日 (日中想定)	①地震発生時の利用者及び職員自身の安全確保 ②地震発生後の利用者の安否確認 ③避難行動訓練(窓ガラス・倒壊物からの避難、1階からの垂直避難)	特養	職員：25名 利用者：69名
	④負傷者への対応(ガラス飛散による裂傷 2F, 3F) ⑤施設内外の設備点検の実施(地震後火災の有無の確認も含む)	樹蔭	職員：9名 利用者：28名
	⑥情報収集(利用者、職員等の安否・受傷状況確認、施設建物状況確認) ⑦指揮統括(施設長へ安否確認及び被害状況報告) ⑧防災備品(移乗用担架、発電機)を使った訓練	居宅	職員：4名
令和6年2月22日 (特養夜間想定) (デイ日中想定)	①地震発生時の利用者及び職員自身の安全確認 ②地震発生後の利用者の安否 ③火災発生の確認及び初期消火	特養	職員：28名 利用者：64名
	④出火元からの避難誘導 ⑤消防機関への通報及び連携 ⑥情報収集(利用者、火災状況)	樹蔭	職員：9名 利用者：31名
	⑦緊急連絡網による状況報告 ⑧水消火器を利用した消火訓練	居宅	職員：4名

6月の避難訓練では福祉避難所の指定にともない、地域の方を招いて炊き出し訓練を実施した。

11月の地震訓練では新たに整備した移乗用担架を活用した垂直避難訓練と発電機の稼働について確認を行った。

昨年2名防災士が増え、今年新たに3名の防災士資格者を有することになり防災強化に努める事が出来た。

#### (2)設備点検【法廷点検】について

- ①消防用設備等点検は、三誠産業が、令和5年8月27日と令和6年1月29日の2回実施した。内、8月27日の点検結果を東消防署三里出張所に提出した。
- ②非常用発電装置は、四国電気保安協会が次のように実施した。
  - ・絶縁監視装置点検を隔月毎実施。
  - ・太陽電池発電点検を令和5年5月10日と令和5年11月7日の2回実施。

### 10. 広報活動

#### (1)ホームページ(スタッフ日記)更新：18回

	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
回数	3	6	4	4	2	4	8	7	3	3	4	5	18

(2)令和5年度より「早蕨便り」を創設しました。偶数月に定期便にて発送しています。施設内行事・外出レク・避難訓練・職員表彰等の様子等を取り入れ、多職種輪番にて作成を行いました。回数を重ねる度、ご家族より「施設の様子がわかります。また送られてくる事を楽しみにしています」等の意見が聞かれる様になりました。

### 11. 総括

(1)令和5年度は、コロナ禍で延期になっていた老人福祉法・介護保険法の指導監査(令和5年8月29日)が3年半ぶりに実施された。各部所3ヶ月前から準備に取り掛かり、各項目(事故・苦情・入退院・褥瘡等)に台帳を更新し、抜かりや整合性の確認を行った。監査前日には、整備された書類を項目毎に名札を付け準備することが出来た。監査当日は、初めて指導監査を体験する職員は緊張も見られたが、日頃の取組んだ書類の確認やヒヤリングであったので自身に繋がった。指導監査自体は、スムーズに進み予定時間より2時間程度早く終了する事が出来た。担当責任者の高知市指導課長より「老人福祉法・介護保険法とも、職員の皆様が利用者に対して丁寧に対応されていることが良く確認されました。又、準備して頂いた書類も綺麗に整理されています。」との講評あり、文書結果も「特に指導する事項は認められませんでした。」との結果であった。

(2)令和5年度の収入実績は、前年度394,219,640円(特養：356,779,417円・短期37,440,223円)に

対して今年度は、400,861,982円（特養：353,819,491円・短期：47,042,491円）で前年度比101.7%、日標に対しては105.9%の実績であった。

特養入居の稼働率は、入院等の空床日数が1,419日で前年度より416日の増となり年間利用日数29,280日に対して実利用日数が27,784日、稼働率94.9%で目標達成出来なかった。退居者は、前年度23名に対して今年度は24名とほぼ同数で、退所先は医療機関への入院が多く20名の83.3%の割合となった。

短期入所の稼働率は、年間利用日数3,660日に対して実利用日数は4,006日（併設3,371日、空床635日）で、併設稼働率92.1%、空床を合わせると110.8%となり、昨年度の88.7%から22.1%の大幅増となった。肺炎球菌（6月）、コロナ第9波（7月～10月）、第10波（1月～3月）時の利用低下が見られたが、施設内での感染症予防や抗原検査、オレンジ対応（隔離）等を実施する事で積極的に空床SS利用を止める事無く活用が要因である。

特養入居と短期入居の合計稼働率は、96.5%で令和5年度稼働率目標96.4%を達成出来た。

(3)健康管理は、医務・介護が中心となり利用者の健康状態の把握に努め、体調不良の兆候が見られた際には、相談員や家族の協力のもと早めの受診を心掛けた。令和5年度は、協力医療機関をいずみの病院（嘱託医）ときんろう病院（入居者検診、コロナ・インフルエンザの予防接種）に変更したが、両病院とも医療連携がスムーズに図れた。前年度入院日数は1,003日で今年度は1,419名と416日の増加大となった。実入院者数は、74名（令和4年度73名）で前年度もほぼ同じであるが、1回の入院期間が長くなった。原因としては、今まで以上の検査、治療経過の確認、退院時カンファレンスの実施等を実実に実施した結果である。入院中は、空床ベット利用のSSを活用し、入院治療期間が取れるよう努めた。

(4)感染症予防対策の新型コロナウイルスは、前年度のクラスター経験が生かされ感染症予防対策の周知が徹底されクラスターになる事は無かった。陽性職員は、7名（令和4年度20名）と前年度より大幅減となった。感染経路は、保育園・小学校の子供からの家庭内感染が主であった。陽性入居者は、1名であった。感染経路は、家族受診時に施設に無断で自宅に寄り、飲食を伴う複数の家族と過ごした際に感染した。帰設2日後に発熱し、抗原検査でコロナ陽性となり、即日入院隔離と2週間の感染症予防警戒措置を実施しその後の感染が見られなかった。

インフルエンザは、利用者・職員の感染はほぼ無かったが、職員の子供が保育園や小学校等での感染するケースが多くあり、職員の協力での受診・検査することでインフルエンザの持込みも防げた。SSでは、お迎え時の健康チェックを強化とコロナ抗原検査を集中的な実施とデイサービスやヘルパー及び居宅との連携を図り、感染リスクのある利用者への事前の対応を行い施設への持込みを防げた。

<令和5年度、職員コロナ陽性者>

事業所・部署	陽性者数		備考
	R5年度	R4年度	
特養	6名	20名	介護5名、清掃1名
デイ樹蔭	6名	6名	課長1名、管理者1名、介護4名
デイ庵	—	3名	
ヘルパーあおやぎ	1名	1名	介護1名
居宅さわらび	2名	2名	ケアマネ2名
地域連携室さわらび	—	—	
厨房	3名	1名	調理員3名
合計	18名	33名	

(5)コロナ禍であったが、ガラス越し面会の継続や下半期には、早蕨便りを定期的に発信出来た。残念ながら家族や地域の方々はお招きできなかったが、ボランティアを招いての納涼祭を4年ぶりに開催出来た。又、桜・田植え・コスモスや五台山小学校の音楽会等の外出行事や敬老会、花火、クリスマス忘年会、新年会等、年間を通じて実施出来た。利用者・職員の多くの笑顔を見る事が出来た事とその行事を通じた会話（コミュニケーション）が大幅に増えた。

(6)ノーリフケア推進委員会が中心となり、3年目である。スライディングボード、リフトは、約2割の利用者が活用し、定着した。令和5年度には、スカイリフト（排泄介助・立位訓練用）を2台導

入し、約 10 名程度の利用者に活用出来てる。今までオムツでの排泄からトイレでの排泄が出来た事例や 2 人介助が 1 人介助で対応出来た事で新たなケアに当たる時間が出来、職員の腰痛予防とストレスの軽減に繋がった。

(7)令和 5 年 8 月には、インドネシア（バリ島）から 2 名の介護技能実習生を受入れた。2 名共一生懸命に介護業務や日本の勉強に取組み、その取組み姿勢に日本人の職員が学ぶ事も多く有った。令和 6 年 3 月には、第 2 号への移行への介護技術試験にも合格出来た。

(8)令和 5 年度は、Zoom 研修が主流となった。感染症予防の為、限定的な外部研修となったが、介護技能実習指導員研修 3 名、防災士 1 名等指導的立場で活躍出来る資格取得研修に参加出来た。又、内部研修でも配布資料の工夫や研修後の簡易の研修報告書を提出する事で理解度や疑問点・質問等が確認し、内容よっての個別指導・フォローが実施出来た。

(9)令和 5 年度は、4 つの外部認証制度指定の認定をされた。

	名称	指定・認定日
①	高知家地域共生社会推進宣言	令和 5 年 10 月 7 日
②	KOCHI SGGs	令和 5 年 11 月 1 日
③	ノーリフティングケア宣言	令和 5 年 12 月 27 日
④	南海トラフ地震優良取組事業所	令和 6 年 3 月 27 日

**高知家地域共生  
社会推進宣言**

地域の力が弱まる中、8050 問題（※）などの複合課題が顕在化しています。こうした課題への対応として、高知県では、令和 4 年度から、みんながつながり、支え合う「高知型地域共生社会」の取り組みを本格的にスタートしました。昨年 10 月には、オール高知で取り組みを進めるために、まずは知事と県内全市町村長、全社会福祉協議会会長が共同で「高知家地域共生社会推進宣言」を実施したところです。



高知県では、「第 4 期産業振興計画」の重点ポイントの 1 つとして、「SDGs の広がりによる持続可能な地域社会づくり」を掲げ、県内事業者における SDGs の取り組みを推進しています。

この施策の一環として、県内事業者による「企業価値の向上」や「多様な人材の確保」などとともに、SDGs の取り組みの裾野を広げることを目的とした登録制度を令和 3 年度に創設しました



高知県では、職員や利用者の健康を守るためにノーリフティングケアの実践を推奨しています。そのため平成 26 年度より、職員、利用者の双方に優しいケアを目指して、高知県福祉・介護就労環境改善事業として「福祉機器等の導入費用を支援する補助金」「福祉機器の効果的な活用に向けた研修開催などのソフト事業」を行い、ノーリフティングケアの普及を推進しています。（高知家ノーリフティングマスター養成研修修了者配置）



高知県では、事業者の皆さまが南海トラフ地震対策に取り組むきっかけとなることや、目標を持って取り組んでいただくことを目的として、南海トラフ地震対策に積極的に取り組んでいる事業所を優良取組事業所として認定する制度を平成 25 年度からスタートしています。

この制度は、事業継続、社員教育、地域貢献の 3 つの視点からそれぞれ評価項目を設け、基準を満たした事業所を認定することとしています。

# デイサービスセンター樹蔭事業報告書

## 1. 令和5年度 基本方針

当事業所は、特養併設のデイサービスとして入居・ショート・ヘルパーステーションと密接な連携を図り、利用者の状況に合わせた対応が出来るデイサービスである。「自然豊かで穏やかな環境」「広々としたデイルームで個々に合わせた過ごし方」の居心地の良い空間の提供を行う。職員が主体的に働けるように、食事・口腔・入浴・排泄、行事を担当制とするとともに、積極的な外部研修への参加を行い質の高い介護を目指す。

### (感染症対策)

感染症の対策として、利用開始前の検温・手指消毒の実施。送迎車・デイルーム等は「密」にならないように換気を行う。昼食後にも検温を実施し、体調不良時の早期発見に努める。

### (居宅との関わり)

樹蔭デイだよりやリーフレット等の活用し、デイでの行事や取り組みの周知を図る。又、体調の変化や等の情報共有とともに、デイで出来る対処方法を提案する事で介護支援専門員と密接な関係を築く。

## 2. 令和5年度稼働率目標 1日平均33名(要介護31名・要支援2名)

## 3. 業務内容

通所介護計画の立案、送迎、入浴、食事、健康管理、レクリエーション、リハビリテーション、個別レクリエーション、機能訓練（要介護者には、日常動作訓練、要支援者には必要に応じての運動機能向上訓練）及び在宅介護についての説明・助言や口腔機能向上訓練及び感染症対策、防災対策、地域交流・地域貢献などを実施する。又、若年性認知症には、個別のケアプログラムを立案し実施する。

令和5年度 基本方針・稼働率目標に基づいた業務内容を次のように行った。

## 令和5年度事業報告

### 1. 事業内容

- (1)区分 通常規模型 (6時間以上7時間未満・7時間以上8時間未満)
- (2)利用定員 55人
- (3)営業日及び営業時間 月曜日から土曜日(祝日含む) 午前8時30分から午後5時30分  
 ※日曜日及び12月31日～1月2日は休業

### 2. 職員の状況

- (1)職員体制 (令和6年3月31日現在) (単位:人)

	人 数		合 計
	常 勤	非常勤	
在宅課長兼生活相談員	1		1
管理者兼主任生活相談員	1		1
生活相談員兼介護職員	2		2
介護職員		7	7
看護職員		2	2
機能訓練指導員	1		1
運転手		1	1
合 計	5	10	15

- (3)採用・退職

		令和5年									令和6年			合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
採用	正職							1							1
	パート						1								1
	派遣							1							1
退職	正職									1					1
	パート			1											1
	派遣														

※正職の退職理由は特養への配置転換。

- (4)職員法定健康診断 (腰痛健康診断含む) (単位:人)

	延べ人数
一般健康診断	13
新規採用者健康診断	2
腰痛健康診断	28

### 3. 事業実績

- (1)月別利用実績 (延べ人数) (単位:人)

		令和5年					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
		営業25日	営業27日	営業26日	営業26日	営業27日	営業26日
予	要支援1	4	5	4	4	5	4
	要支援2	41	30	34	32	32	35

	小計	45	35	38	36	37	39
介護	要介護1	222	240	233	245	268	220
	要介護2	162	161	191	209	215	176
	要介護3	134	135	131	109	122	131
	要介護4	27	43	54	58	57	45
	要介護5	19	25	36	32	26	33
	小計	564	604	645	653	688	605
合計		609	639	683	689	725	644

		令和5年			令和6年			合計
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		営業26日	営業26日	営業26日	営業25日	営業25日	営業26日	311日
予防	要支援1	5	4	4	4	3	3	49
	要支援2	35	37	40	47	34	26	423
	小計	40	41	44	51	37	29	472
介護	要介護1	260	260	259	232	250	230	2919
	要介護2	202	205	193	172	162	149	2197
	要介護3	137	119	93	79	100	126	1416
	要介護4	48	48	45	49	61	54	589
	要介護5	24	18	24	20	18	7	282
	小計	671	650	614	552	591	566	7403
合計		711	691	658	603	628	595	7875

<1日平均利用者 令和4年度 26.6名 ⇒ 令和5年度 25.3名>

※1日平均利用人数は、目標の76.6%、前年度対比は95.1%である。

(2)サービス提供体制強化加算(Ⅰ)

(単位:人)

	令和4年									令和5年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
予防給付(実)	6	5	5	5	5	5	7	6	7	7	7	6	71
介護給付(延)	564	603	645	653	688	605	671	650	614	552	591	566	7402
10年超職員比率(%)													—

※介護職員の総数のうち、勤続年数10年以上の者の割合が25%以上配置されていれば加算要件をクリアとなる。

(3)入浴・月別利用者実績

(単位:人)

	令和4年									令和5年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入浴	465	507	537	555	574	498	545	533	512	463	478	456	6123

<入浴加算 令和4年度 6,052名 ⇒ 令和5年度 6,123名>

※令和5年度の利用者に占める割合は、88.0%であった。(前年度78.0%)

※前年比10%増加の主な理由は、ほとんどの方が入浴を希望されている。

## (4)個別機能訓練・月別利用者実績

(単位：人)

	令和4年									令和5年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
機能訓練	519	491	604	578	613	504	582	560	538	487	516	521	6513

&lt;個別機能訓練加算 令和4年度 6,589名 ⇒ 令和5年度 6,513名&gt;

※令和5年度の利用者に占める割合は、82.7%であった。(前年度84.9%)

## (5)居宅別利用者数内訳

(介護給付)

(単位：人)

	令和4年									令和5年			合計	割合 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
さわらび	32	34	37	38	37	37	39	38	38	38	39	41	448	59.8
クララ	6	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	4	59	7.8
まるごと応援隊	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	37	4.9
スタイル	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25	3.3
土佐清風園	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	3.2
月ぬ美しや	3	3	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	22	2.9
グランボヌール	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	18	2.4
ふくい	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	2.0
あっとホーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	14	1.9
はるの若菜荘	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.6
県庁生協	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.6
たんぼぼ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.6
●みやび	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.6
城見	1	1	1	1	1	1							6	0.8
わかば	1	1	1	1									4	0.5
とらすと	1	1	1	1									4	0.5
●はる	1										1	1	3	0.4
●メルシー											1	2	3	0.4
●アート										1	1	1	3	0.4
●かのん											1	1	2	0.3
合計	62	60	63	63	59	58	60	59	59	60	65	67	735	97.9

※●は営業活動により新規5件追加。前年度より7件減少。

(予防給付)

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計	割合 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
基幹型	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	30	42.9
さわらび	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	26	37.1
トマトの樹	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	17.1
あっとホーム									1	1			2	2.9
合計	5	5	5	5	5	5	6	6	7	8	7	6	70	100

※介護は、20事業所からの利用があり、居宅さわらびが約59.8%(前年度53%)を占めている。

予防は、4事業所からお利用があり、居宅さわらびが約42.9%(前年度44%)を占めている。

※居宅(予防)はあっとホームが追加、やよいが減少となり予防の居宅は前年度と同数となった。

(6)新規利用者・修了者の動向

①新規利用者

(介護給付)

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計	割合 %
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
さわらび	1		3	1	1		3	1		1	2		12	50.0	
クララ	2	1					1				1		5	20.8	
メルシー											1	1	2	8.3	
スタイル		1											1	4.2	
グランボヌール							1						1	4.2	
はる											1		1	4.2	
かのん											1		1	4.2	
合計	3	2	3	1	1	0	5	1	0	1	6	1	23	95.9	

(予防給付)

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計	割合 %
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
基幹型							1						1	33.3	
あっとホーム									1				1	33.3	
さわらび											1		1	33.3	
合計	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3	99.9	

②終了者

(介護給付)

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計	割合 %
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
長期入院	3	5			1					1		2	12	42.9	
入 所			1	1				1			1		4	14.3	
死 亡					3	1	2						6	21.4	
そ の 他					1		1	1				3	6	21.4	
合 計	3	5	1	1	5	1	3	2	0	1	1	5	28	100	

(予防給付)

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計	割合 %
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
長期入院					1		1						2	50.0	
入 所													0		
死 亡													0		
そ の 他	1										1		2	50.0	
合 計	1				1		1				1		4	100.0	

※新規利用者は前年度31名より27名となった。利用終了者は前年度の29名から30名とほぼ同じであった。

居宅への営業は毎月実施したが、利用居宅が減少し新件獲得数が前年より少なくなった事や、脳血管疾患や骨折による入院が多く延べ人数は減少となった。

## (7)日課表

時間	通所介護	介護予防通所介護	
サービス提供時間 (7時間～8時間)	8:30	朝礼 送迎 (お迎え)	朝礼 送迎 (お迎え)
	9:30	バイタルチェック (体温、血圧、脈拍、体重測定)	バイタルチェック (体温、血圧、脈拍、体重測定)
	10:00	ミーティング (送迎時等の共有) 入浴・水分補給 個別レクリエーション (創作・趣味活動) ・塗り絵、計算ドリル、間違い探し、 囲碁・将棋、陶芸 (月3回)	ミーティング (送迎時等の共有) 入浴・水分補給 個別レクリエーション (創作・趣味活動) ・塗り絵、計算ドリル、間違い探し、 囲碁・将棋、陶芸 (月3回)
	11:00	機能訓練リハビリ (パワーリハビリテーション等)	機能訓練リハビリ (パワーリハビリテーション等)
	12:00	リハビリ体操 かみかみ百歳体操	リハビリ体操 かみかみ百歳体操
	13:00	昼食、口腔ケア、排泄介助 休息タイム (お茶・休養)	昼食、口腔ケア、排泄介助 休息タイム (お茶・休養)
	14:00	いきいき百歳体操 集団レクリエーション (おじやみ積み、 手ぬぐい掛け、脳トレなど)	いきいき百歳体操 集団レクリエーション (おじやみ積み、 手ぬぐい掛け、脳トレなど)
	15:00	おやつ・水分補給 リハビリ体操	おやつ・水分補給・送迎 (送り)
	16:00	排泄介助 ラジオ体操	
	16:45	送迎 (送り) 清掃 (消毒)、記録、翌日準備	清掃 (消毒)、記録、翌日準備
	17:30	業務終了	業務終了

## (8)年間行事実績

行事内容		実施日		延べ参加者数	
定期	屋台	毎月 (2回)	延べ 24回	619	
	売店	毎月 (1回)	延べ 11回	53	
	陶芸	毎月 (3日)	延べ 36回	140	
	お誕生日会	毎月 (1～2日)	延べ 19回	440	
季節行事・不定期	季節レク (お花見)	令和5年	4月7日	25	
	こいのぼり運動会		5月5日	19	
	季節レク (梅雨)		6月7日	28	
	デイ納涼祭		7月26日	26	
	夏祭り		8月25日	26	
	敬老会		9月18日	26	
	運動会		10月9日	28	
	季節レク		11月8日	26	
	クリスマス忘年会		12月25日	27	
	新年会		令和6年	1月10日	25
	節分			2月6日	25
ひな祭り	3月4日	29			

&lt;延べ参加者数：1562名&gt;

#### 4. 年間研修実績

##### (1)外部研修（Z o o m研修も含む）

実施日	場 所	研修内容	参加人数	
令和5年	12月12日	高知会館	職場におけるパワハラ・モラハラについて	1
	12月15日	高知城ホール	育成スキルアップ研修「面談者研修」	1
	1月12日	ZOOM研修	高知県高齢者虐待防止・権利擁護研修	1

<延べ参加者数：3名>

##### (2)内部研修

実施日	場 所	研修内容	参加人数
令和5年	4月19日	利用者対応、令和4年度事業計画（部会）	12
		・食と口腔ケアについて ・薬の大切さ・服薬の怖さと副作用について（全体会）	
	5月10日	利用者対応（部会）	14
		感染症予防（全体会）	
	6月21日	利用者対応（部会）	6
		防災対策（BCP）（全体会/紙面研修）	
	7月19日	利用者対応、4月からの担当制（部会）	4
		ノーリフトケアについて（全体会/紙面研修）	
	8月16日	利用者対応、感染症（部会）	4
		高齢者虐待と身体拘束について（全体会/紙面研修）	
9月20日	利用者対応、新型コロナウイルス（部会）	5	
	コンプライアンスについて（全体会/紙面研修）		
10月25日	利用者対応（部会）	8	
	感染症予防（全体会）		
11月15日	防災訓練・利用者対応（部会）	12	
	高齢者の方とのコミュニケーション法（全体会）		
12月21日	事故検討会（部会）	14	
	医療の知識：高齢者の基礎疾患（全体会）		
令和6年	1月17日	利用者対応（部会）	10
		高齢者の楽しめるレクリエーション（全体会）	
	2月21日	与薬について（部会）	6
・高齢者虐待と身体拘束について・事故防止について（全体会/紙面研修）			
3月13日	次年度事業計画の決定事項について（部会）	6	
	認知症について（全体会/紙面研修）		

<延べ参加者数：101名>

#### 5. 総括

- 令和5年度の収入実績は、前年度と比較すると96.3%、収入目標に対しては76.7%の実績となった。稼働日数311日で新規利用者は27名で前年度比87.1%となった。  
延べ7875名の利用があり1日平均利用者は25.3名で前年度比1.3名の減、年間延べ利用者は304名の減となり利用回数が多い利用者の入院(脳梗塞・発熱・骨折)が主な要因であった。
- 新型コロナウイルスの対応として、職員・利用者ともにマスクの着用・手洗い・手指のアルコール消毒の実施、感染症が疑われる症状等がある場合には、出勤・利用の中止を行った。又、職員・利用者の体調だけでなく、同居家族の健康状態やワクチン接種状況等を把握し感染予防に努めた。

新型コロナウイルスが5類に移行後、職員の罹患があったが感染経路は同居家族からであった。管理者が中心となって特養の感染症委員会へ参加し感染症の動向や感染症対策の周知を行う事でデイ内でのクラスターの発生を防ぐ事が出来た。

又、コロナ陽性の職員の自宅待機によりその日の勤務配置が難しくなった為、職員のストレスも増加していたが協力し合い乗り切る事が出来た。

- (3) 本年度は不定期ではあったが、おやつレク・イベント浴を開催した。目の前で作るパンケーキや和菓子の調理、年間を通じ薬草湯やみかん風呂、ゆず湯等趣向を凝らした、お風呂で利用者を楽しんで頂けるように努めた。

又、外出行事が行えるようになり、1月に善楽寺に初詣に出掛ける事が出来、久しぶりの外出をとっても喜ばれた。

新型コロナウイルス前には、厨房と連携し屋台イベントとして食事やおやつを提供していたが感染症対策として屋台イベントを中止していた。令和6年3月にコロナ禍後初めてデイルームにて屋台を組み立て、ラーメン屋台を開催する事が出来た。調理の様子や、食欲をそそる匂いを楽しむ事が出来た。

- (4) 研修は、オンライン研修1回、外部研修2回に参加し、自己研鑽に努めた。施設内研修では年間研修計画を基に全体会を行い、部署単位で検討事項や在宅サービスに必要な研鑽を部会で実施した。又、利用者満足を上げるため意見を出し合い、職員一丸となり取り組む事が出来た。

- (5) 他居宅への営業活動だけでなく、居宅さわらびとの連携を行うため意見交換の場を2ヶ月ごとに設けた。意見を元に、業務の見直しを行う事により利用者ニーズに合わせた対応を行った。

- (6) 苦情はなかったが、事故として誤薬が1件あった。

# デイサービスセンター庵 事業報告書

## 1. 令和5年度 基本方針

当事業所は、本部事業所と密に連携を図りながら、利用者の心身の状況に合わせた対応が出来る地域密着型の小規模デイサービスである。利用者ニーズに沿った日課やレクリエーションを実施。又、送迎時には、「当該施設から自宅の玄関まで」ではなく、心身の状況や利用者・家族ニーズにより、起床・臥床介助や荷物の準備も行う。一人暮らしの利用者には生活上必要とされている事（ゴミ捨て確認や援助）等にも対応できる事が大きなセールスポイントである。

(介護給付事業)

- ・要介護状態になった場合においても、その利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤独感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。又、利用者の要介護状態の軽減又は悪化の予防に資するよう、その目的を設定し計画的に行う。

(関係機関との連携)

- ・通所介護の実施にあたっては、居宅介護支援事業所、介護予防支援事業所、その他保険医療サービスや福祉サービスを提供する者及び行政機関との密接な連携を図りながら、総合的・効果的なサービス提供に努める。

## 2. 令和5年度 稼働率目標

1日平均12名

## 3. 令和5年度 業務内容

通所介護計画の立案、送迎、入浴、食事、機能・日常動作訓練、健康チェック、レクリエーション及び感染症対策、防災対策、地域交流・地域貢献などを実施する。

令和5年度 基本方針・稼働率目標に基づいた業務内容を次のように行った。



		令和5年			令和6年			合計
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		営業22日	営業22日	営業21日	営業21日	営業21日	営業21日	258日
介護	要介護1	115	142	140	141	138	152	1,511
	要介護2	66	86	76	75	76	70	817
	要介護3			1				0
	要介護4	17	17	18	17	16	18	164
	要介護5							0
	合計	198	245	234	233	230	240	2,521

<1日平均利用者 令和4年度8.7名 ⇒ 令和5年度9.7名>

※1日平均利用人数は、目標の80.8%、前年度対比は72.5%である。

※令和4年度と比較し1日利用者平均が1.0の微増したが目標を達成できなかった。原因は死亡、入居、介護より要支援になり利用できなくなった件数を新件の増加が上回れず、後半に新件利用者数増加で追い上げはしたが目標には届かなかった。

(2)サービス提供体制強化加算 (I)

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
介護給付(延)	178	207	200	187	187	188	198	191	166	179	161	206	2,291
介福比率(%)	35	41	45	41	24	36	47	38	35	38	36	29	—

※介護職員のうち、10年以上の介護福祉士の割合が25%以上配置されていれば加算要件をクリアとなる。令和5年8月においては職員のコロナウイルス感染によるものであり介護報酬の減額は無い。

(3)入浴・月別利用者実績

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入浴	177	156	139	139	112	125	133	173	161	162	162	175	1,814

<入浴加算 令和4年度1,772名 ⇒ 令和5年度1,814名>

※令和5年度の利用者に占める割合は、71.9%であった。(令和4年度77.3%)

(4)個別機能訓練・月別利用者実績

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
機能訓練	178	207	200	187	187	188	198	191	166	179	161	206	2,291

<個別機能訓練加算 令和4年度2,279名 ⇒ 令和5年度2,291名>

※令和5年度の利用者に占める割合は、100.0%であった。(令和4年度99.4%)

(5)居宅別利用者数内訳

(介護給付)

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計	割合
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
さわらび	8	9	8	8	6	6	7	9	8	8	8	10	95	42.6
トマトの樹	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	49	21.9
やよい	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	5.3
はる					1	2	2	3	3	3	3	3	20	8.9

まるごと応援隊	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	5.3
マリン					2	2	3	2	2	2	2	2	17	7.6
ふくいのみ	1	1											2	0.8
グランボヌール	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	5.3
虹の夢									1	1	1	1	4	1.7
計	17	17	15	15	16	17	19	21	21	21	21	23	223	-

※介護は、8事業所からの利用があり、居宅さわらび（42.6%）と居宅トマトの樹（21.9%）の2事業所で64.5%を占めている。

(6)新規利用者・終了者の動向

①新規利用者

(介護給付)

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計	割合
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
さわらび		1						1				2	4	33.3	
トマトの樹							1						1	8.3	
はる					1	1		1					3	25.0	
マリン					2		1						3	25.0	
虹の夢									1				1	8.3	
計	0	1	10	0	3	1	2	2	1			2	12	-	

<新規利用者 令和4年度11名 ⇒ 令和5年度12名>

※利用が無かった居宅やケアマネジャーからの新規紹介が4件あった。(はる、虹の夢)

②終了者

(介護給付)

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
長期入院	2		1										3	
入 所			1		1		1		1				4	
死 亡	1												1	
そ の 他		1						1					2	
計	3	1	2		1		1	1	1				10	

<利用終了者 令和4年度14名 ⇒ 令和5年度10名>

※利用終了者が令和4年度14名から令和5年度10名と減少し、新規利用者令和4年度11名から令和5年度12名の受け入れがあり利用者増加に繋がった。

(7)日課

時 7	時間	通所介護
-----	----	------

8:30	朝礼 送迎（お迎え）検温
9:30	バイタルチェック（体温、血圧、脈拍、体重測定）
10:00	ミーティング（送迎時等の共有） 入浴・水分補給 個別レクリエーション（創作・趣味活動） ・塗り絵、計算ドリル、間違い探し、脳トレ（数字盤） 機能訓練リハビリ
11:30	リハビリ体操、かみかみ百歳体操、検温
12:30	昼食、口腔ケア、排泄介助 休息タイム（お茶・休養）連絡ノート写真貼り
14:00	いきいき百歳体操、ラジオ体操、ボール体操、脳トレ体操
15:00	おやつ・水分補給
15:20	集団レクリエーション（おじゃみ積み、手ぬぐい掛け、脳トレなど）
16:00	排泄介助
16:45	送迎（送り） 清掃（消毒）、記録、翌日準備
17:30	業務終了

#### (8)年間行事実績

行事内容		実施日		延べ参加者数
定期	誕生日会	利用者の誕生日前後		164名
	避難訓練（火災）	令和5年	5月10日	7名
	避難訓練（地震・浸水）		10月19日	6名
季節行事・不定期	春のクイズ大会	令和5年	4月10日	10名
	こいのぼり運動会		5月5日	11名
	お茶会		6月21日	9名
	七夕祭り		7月7日	11名
	夏祭り（よさこい祭り）		8月9日、10日	13名
	敬老会		9月18日	9名
	長寿を祝う会		9月19日	6名
	大運動会		10月10日	7名
	秋のお茶会		11月23日	13名
	クリスマス忘年会		12月25日	11名
	新年会	令和6年	1月3日	9名
	節分		2月1日	11名
ひな祭り	3月1日		14名	

＜延べ参加者数 令和4年度252名 ⇒ 令和5年度311名＞

※全ての利用者がまんべんなく楽しめるように実施した。令和4年度よりも利用者数が微増し他事で参加者数も増加し楽しんでもらった。

#### 4. 年間研修実績

##### (1) 外部研修（Z o o m研修も含む）

実施日	場 所	研修内容	参加人数
令和5年 10月31日	本部 相談室	屋外でのサービス提供等に関する研修会（オンライン）	1
令和6年 1月12日	本部 地域交流室	令和5年度高知県高齢者虐待防止・権利擁護研修（オンライン）	1

(2) 内部研修

実施日	場 所	研修内容	参加人数	
令和5年	部会： 庵事務室  全体会： さわらび 本部	全体会（食と口腔ケア）	8名	
		4月28日	部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	8名
		5月10日	全体会（感染症予防）	8名
		5月23日	部会（事故防止委員会、高齢者虐待、感染症）	8名
		6月27日	部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	8名
		6月21日	全体会（災害対策・BCP）	8名
		7月15日	全体会（ノーリフトケア）	7名
		7月28日	部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	7名
		8月3日	部会（事故防止委員会、高齢者虐待、感染症）	9名
		8月16日	全体会（高齢者虐待と身体拘束、事故防止）	8名
		9月20日	全体会（コンプライアンス）	8名
		9月29日	部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	8名
		10月18日	全体会（感染症予防）	9名
		10月26日	部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	8名

実施日	場 所	研修内容	参加人数	
令和5年	部会： 庵事務室	11月8日	新任者研修	1名
		11月15日	全体会（高齢者とのコミュニケーション法）	8名
		11月27日	部会（事故防止委員会、高齢者虐待、感染症）	7名
		12月21日	全体会（高齢者の基礎疾患）	7名
		12月29日	部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	8名
令和6年	全体会： さわらび 本部	1月17日	全体会（高齢者の楽しめるレクリエーション）	7名
		1月31日	部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	7名
		2月17日	全体会（高齢者虐待・身体拘束廃止、事故防止）	6名
		2月28日	部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	8名
		3月13日	全体会（認知症ケア）	5名
		3月29日	部会（事故防止委員会、高齢者虐待、感染症）	9名
		3月28日	新任者研修	1名

<延べ参加者数（紙面含む）令和4年度216名 ⇒ 令和5年：186名>

※部会では年間研修計画に沿った研修内容で実施し、マニュアル確認も行った。紙面参加者で不明点等あれば個別にて対応した。全体勉強会においても感染症対策の為紙面での勉強会が多くなったが研修報告書提出により各職員の理解度を確保する事が出来た。新人職員においては本部での新任研修にも他新人職員と一緒に参加させてもらった。

5. 総括

- 令和5年度の収入実績は、前年度と比較すると90.8%、収入目標に対しては81.4%の実績となった。稼働日数は258日で新規利用者は年間12名であった。延べ2,521名の利用があり1日平均利用者は9.7名で前年度比1.0名の増、年間の延べ利用者数は前年度2,291名と比べ230名の増となっているが、前年度が落ち込んだ数字である事、又、前半の入居や入院、介護より要支援になる等の減少に、後半増加はしたものの、追いつく事ができず目標達成出来なかった。
- 令和5年度コロナウイルス感染症予防策でデイサービスの利用控えをされた利用者が3名（11日）、コロナウイルス感染の利用者が1名（4日）職員が1名（10）あったが、施設長の迅速な指示により、家族への連絡や日程調整をする事でクラスターにならず終息した。前年度も少ない職員での調

整や職員の疲労もあったが、本部の協力も得ながら職員の頑張りによりサービスの質を落とす事無く対応出来た。苦境を乗り越える事で、同時に職員のスキルアップにもなり、その後新件獲得にもつながった。利用中の利用者においても休みなくサービスが利用でき稼働率も維持できる様、受診等による休みには利用曜日の振替変更や利用日数の調整も家族や担当ケアマネに積極的に提案できた。体調不良ではない当日の休みにおいても、送迎時間の調整をし利用者に合わせた声掛けにより利用に繋げることが出来た。

- (3)年間行事では、より多くの利用者に参加して貰える様、カレンダー上同じ曜日になる行事（敬老会等）は内容を変え2回開催した。レクリエーションでは、利用者の手作りカレンダーに加え、持ち帰りできる作品を作成し展示、その後、持ち帰って貰い自宅でも達成感を感じてもらえるようにした。行事や作品作りの様子は写真撮影し表情は勿論、参加したことが振り返りわかる様に掲示をした。さわらび会ホームページ・スタッフ日記にも行事の写真をアップしてもらおう事で、家族やケアマネジャーにも「楽しい様子が伝わります。」「おばあちゃんが映っていました。楽しみにしています。」等の声も聞かれ、喜ばれた。家族とは連絡帳以外にも平時と違う様子や体調の変化がある時は電話やメールにて報告し体調変化にも迅速に対応できるよう努め、悪化する前に受診にも繋げることが出来た。また同時に居宅ケアマネジャーとの連携も迅速に行った。
- (4)施設内研修では年間研修計画を基に行い、部署単位で検討事項や在宅サービスに必要な研鑽を部会で実施した。

## ヘルパーステーションあおやぎ 事業報告

### 1. 令和5年度 基本方針

- ・利用者の在宅生活継続の為に、生活の質の向上や自立支援を目標とし関連機関との連携を図りながら認知症やうつ病、看取り等の困難なケースにも対応ができるようヘルパーの資質向上を図る。

(介護給付事業)

要介護状態にある利用者に対して、適切な指定訪問介護を提供することを目的とする。

(予防給付事業)

要支援状態にある利用者に対して、昨日の維持及び向上を図り、「目標指向型」の適切な指定介護予防訪問介護を提供することを目的とする。

### 2. 令和5年度稼働率目標 利用者数 55名（現状維持～微増）とする。

### 3. 業務内容

(1)提供するサービス内容（身体介護、生活援助）

(2)自己研鑽

(5)多機能連携

(3)利用者満足

(6)感染症や災害への対応力強化

(4)自立支援

(7)地域貢献・社会貢献

令和5年度 基本方針・稼働率目標・業務目標に基づいた業務内容を次のように行った。

## 令和5年度事業報告

### 1. 事業内容

令和6年3月31日現在 登録者34人（内予防給付7人）

### 2. 営業日及び営業時間

月曜日から土曜日 午前8時30分から午後5時30分（但し、12月31日から1月2日迄は除く）

### 3. 通常の事業実施地域

高知市、南国市

### 4. 職員の状況

(1)職員体制（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

	人 数		合 計
	常 勤	非常勤	
在宅課長兼サービス提供責任者	1		1
サービス提供責任者兼訪問介護員		1	1
訪問介護員（介護福祉士）		2	2
訪問介護員（ヘルパー2級）		1	1
合 計	1	4	5

(2)採用・退職

	令和5年										令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
採用：パート								1	1				2	
退職：パート				1	2	1							4	

(3)職員法定健康診断（腰痛健康診断含む）（単位：人）

	延べ人数
一般健康診断	3
新規採用者健康診断	2
腰痛健康診断	6

### 5. 提供するサービスの内容

- (1)身体介護：食事介助、排泄介助、入浴介助、起床介助、就寝介助、衣類着脱介助、整容介助、身体清拭介助、洗髪介助、体位変換、服薬管理、通院介助等
- (2)生活援助：調理、洗濯、掃除、買物、薬の受取り、衣類の入替え等

### 6. 事業実績

(1)介護度別稼働時間

（単位：分）

	令和5年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月



りんくす	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
海の里	2	1	2	2	1				1		1	1	11
トマトの樹	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9
ポラリス					1	1	1	1	1	1	1	1	8
クララ	1	1	1	1									4
かのん										1	1	1	3
マリン	1	2											2
はる	1												1
合計	33	29	28	27	27	24	23	23	23	23	26	26	312

<前年度：470件>

※新件の依頼はあるが、ヘルパー不足の為に受け入れ出来ず減となる。

(予防給付)

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
基幹型	7	5	5	5	5	3	3	3	3	3	2	3	47	
まるごと応援隊	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	19	
かのん	2	1	2	2	2	1	2	2					14	
さわらび	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9	
南国市	1	1	1	1	1					1	1	1	8	
グランボヌール	1	1	1	1	1								5	
一宮	1	1	1	1									4	
トマトの樹	1	2											3	
こ結び	1													
合計	16	13	12	12	110	7	8	8	6	6	5	6	110	

※介護は、15事業所（3事業所減だが、2事業所新規あり）からの利用があり、居宅さわらびが約35.5%を占めているが前年度（27.0%）より増。予防は、9事業所からの利用があり、基幹型が約42.7%を占めている。

(4)新規利用者・修了者の動向

①新規利用者

(介護給付)

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
さわらび	3	1							1			1	6	
一宮	3											1	4	
城見					1	1				1			3	
こ結び				1						1			2	
かのん										1			1	
合計	6	1	0	1	1	1	0	0	1	3	0	2	16	

(予防給付)

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
基幹型												1	1	
南国市										1			1	

海の里				1									1
かのん								1					1
まるごと応援隊						1							
合計	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	5

②終了者

(介護給付)

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
さわらび	3			1					1	1			6
海の里	1					1							2
一宮							1	1					2
スタイル					1								1
マリン		1											1
クララ					1								1
こ結び						1				1			2
たんぽぽ						1							1
合計	4	1	0	1	2	3	1	1	1	2	0	0	16

(予防給付)

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
基幹型	1					1							2
一宮										1			1
海の里					1								1
かのん							1						1
グランボヌール						1							1
トマトの樹		1											1
南国市						1							1
合計	1	1	0	0	1	3	1	0	0	1	0	0	8

4. 年間研修実績

	実施日	場 所	研修内容	参加人数
令和5年	4月19日	ヘルパー室	生活援助について	6
	5月10日	ヘルパー室	医学的基礎知識について（服薬）	6
	6月21日	ヘルパー室	介護技術について（コンプライアンス）	5
	7月19日	ヘルパー室	認知症について①（水分摂取）	6
	8月16日	ヘルパー室	高齢者虐待について①	6
	9月20日	ヘルパー室	高齢者虐待について②	4
	10月18日	ヘルパー室	感染予防について①（コロナ）	5
	11月15日	ヘルパー室	認知症について②	5
令和6年	12月20日	ヘルパー室	高齢者の基礎疾患について（脳血管障害）	5
	1月17日	ヘルパー室	感染予防について②（コロナ、インフルエンザ）	5
	2月21日	ヘルパー室	防災について（事故防止）	5
	3月13日	ヘルパー室	ヘルパーの資質について	5

<延べ参加者数：63名>

## 5. 総括

- (1)令和5年度は、年間を通じて新規依頼があり、可能な範囲で受入れを行ってきたが、登録ヘルパーの退職や時間帯・訪問距離等で、断らざるを得ないケースも多くあった。収入実績は前年度対比66.6%、目標達成率は令和5年4月は49名で89%であったが令和6年3月は61.8%と、年間を通して届かなかった。登録ヘルパーの勤務状況や退職等によりヘルパーの減少の影響が大きかった。
- (2)今年度は家庭の事情や高齢、体調不良を理由に4名のヘルパーの退職があり、稼働率減少の要因となった。そのため、特養からの兼務や2名の新規ヘルパーの採用を行い稼働率回復に努めた。
- (3)訪問時には、利用者や家族の気持ちに寄り添い、適切な事業が実施できるよう、「気づき」のあるサービス提供に心掛けた。また、「気づき」があれば居宅介護支援事業所への報告を行った。
- (4)精神疾患の利用者の受け入れを行い、利用者や家族の状態に応じて、居宅介護支援事業所との連携を図り、緊急時訪問など臨機応変に対応出来た。
- (5)研修については、コロナ禍の影響と職員体制により、残念ながら外部研修の参加が出来なかった。その為年間を通じて全ヘルパーが内部研修に参加し、自己研鑽に努めた。
- (6)新型コロナウイルスへの対応としては、マスクの着用・手洗い・手指のアルコール消毒の実施、感染症が疑われる症状等がある場合には、出勤・利用の中止の対応を行った。又、職員・利用者の体調だけでなく、利用者やヘルパーの同居家族の健康状態や県外往来者との接触状況等またワクチン接種状況等の把握し感染予防に努めたが、1名がコロナ陽性で自宅療養となり、その間は他ヘルパーの訪問にて利用者の在宅サービスの支援は継続出来た。

# 居宅介護支援事業所さわりび事業報告書

## 1. 令和5年度基本方針

居宅介護支援事業所は、その利用者が要介護状態になった場合においても、可能な限り居宅において、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるように考慮して支援を行う。

適切に保健医療サービスおよび福祉サービス等との連携に十分に配慮しながら総合的にかつ効果的に支援する。

利用者の意見及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、多数の事業所から希望に沿った事業所の選定を行う。

## 2. 令和5年度目標実績数

居宅サービス計画作成数（要介護1～5） 125件/月・1,500件/年

介護予防サービス計画作成数（要支援1・2） 25件/月・300件/年

## 3. 居宅介護支援事業所の内容

身体状態、介護状態、居住環境、現在利用しているサービスや家族等の在宅介護力を課題分析し、解決すべき課題を把握し、在宅生活おける問題点を明確にする。

- ・アセスメントの実施
- ・ケアプラン作成
- ・サービス担当者会議の開催・意見の聞き取り
- ・ケアプランの説明・交付・同意
- ・月1回のモニタリング
- ・必要時の再アセスメントの実施に伴うケアプランの変更
- ・要介護認定の申請・更新・変更
- ・福祉用具購入や住宅改修の申請代行
- ・給付管理等

令和5年度基本方針及び目標実績数・業務内容に基づき、次のように行った。

# 令和5年度事業報告

## 1. 事業内容

### (1)営業日及び営業時間

月曜日から金曜日（祝日含む）午前8時30分から午後5時30分

※日曜日及び12月29日～1月3日は休業

### (2)通常の実施地域

高知市、南国市

## 2. 職員の状況

### (1)職員体制（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

	人数		合計
	常勤	非常勤	
管理者兼主任介護専門員	1	—	1
介護専門員	3	—	3
合計	4	—	4

### (2)職員法定健康診断（腰痛健康診断含む）（単位：人）

	延べ人数
一般健康診断	4

## 3. 事業実績

### (1)月別利用実績

（単位：人）

		令和5年					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
予防	要支援1	14	13	15	15	17	17
	要支援2	13	14	15	14	14	13
	小計	27	27	30	29	31	30
介護	要介護1	50	50	52	51	56	50
	要介護2	32	34	35	37	35	37
	要介護3	17	19	19	20	18	20
	要介護4	10	9	11	8	7	7
	要介護5	8	9	9	8	7	8
	小計	117	121	126	124	123	122
合計		144	148	156	153	154	152

		令和5年			令和6年			合計
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
予防	要支援1	17	16	17	17	18	15	191
	要支援2	15	15	14	15	15	15	172
	小計	32	31	31	32	33	30	363
介護	要介護1	53	54	56	55	57	62	646
	要介護2	37	41	38	36	35	35	432
	要介護3	21	20	20	21	22	21	238
	要介護4	7	6	8	8	10	11	102

	要介護5	7	6	9	9	9	8	98
	小計	125	128	131	129	133	137	1,516
	合計	157	159	162	161	166	167	1,879

<前年度：1,681人>

※上半期は目標件数を目指し、包括支援センターや病院など空き状況の紹介や、連携を図った。下半期は12月に他居宅のケアマネジャー退職により、大口の受け入れあり、その後も担当件数を維持できたことで、目標である125件/月を超えている。

各ケアマネジャーが30件以上のケースを担当することが出来ている。

(2)各加算実績

(介護給付)

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
初回加算	5	5	5	3	4	3	5	4	7	1	1	2	42	
特定事業所加算Ⅱ	117	121	126	124	123	122	125	128	131	129	133	137	1,516	
入院時情報連携加算Ⅰ	8	5	10	3	4	6	5	3	8	2	6	5	65	
退院・退所加算(Ⅰ)イ	2	3	4	4	2	1	2	2	1	2	4	4	31	
通院時情報連携加算	2	5	6	4	3	1	4	7	4	5	4	5	50	

(予防給付)

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
初回加算	2	1	3		2		2		2	1	2	2	17	
委託連携加算	2	1	3		2		2		1	1	2	2	17	

※令和5年12月は他居宅から変更担当依頼あり、初回加算の増となった。

入院の情報が入ったら直ちに医療との連携を図り、利用者の情報の共有努めた。

	令和5年										令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
担当者会議	33	35	34	34	29	30	38	37	34	39	32	29	404	
モニタリング	144	148	156	153	154	152	157	159	162	161	166	167	1,879	

※担当者会議・モニタリングは、感染対策をとり行った。

(4)年間事業所別利用者数内訳

①通所介護・通所リハ事業所

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計	割合(%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
<b>【通所介護】</b>															
樹蔭	29	33	36	37	37	35	36	38	36	36	37	37	427	49.4	
ツクイ東雲	5	5	6	7	6	7	7	7	6	7	7	8	78	9.1	
ニチイケアセンター	7	6	6	6	6	6	6	7	6	6	6	6	74	8.6	
リハライフ卸団地	4	3	4	3	3	3	3	3	4	2	3	4	39	4.5	
トマトの樹	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	30	3.5	
梅一輪	3	3	3	3	2	2	2	3	3	2	1	1	28	3.3	

いとう	1	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	3	23	2.7
リハライフ高須	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3	18	2.1
スタイル高須	2	2	2	2	2	1		1	1	1	1	1	16	1.9
ジョイリハ高須		1	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	14	1.6
なぎさ	1				1	1	2	2	2	2	2	1	14	1.6
グランボヌール	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.4
あおぞら	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.4
ライラック	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.4
たくさん	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.4
そよ風	1	1		1	1	1	1	1	1	1			9	1.0
ウイークリハ	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9	1.0
アートケア仁井田					1	1	1	1	1	1	1	1	8	0.9
楽リハデイ					1	1	1	1	1	1	1	1	8	0.9
しのはら								1	1	1	1	1	5	0.6
りんくすせかんど	1	1	1	1								1	4	0.5
西田順天堂									1	1	1	1	4	0.5
はるかぜ											1	1	2	0.2
ツクイ神田												2	2	0.2
せいふうえん												1	1	0.1
合計	64	67	71	72	71	70	71	76	75	72	74	875	858	

【地域密着型通所介護】

庵	8	9	8	8	6	6	7	9	8	8	8	10	95	27.2
ロミ	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	37	10.6
わたぼうし種崎	2	2	2	3	4	3	2	2	2	2	2	3	29	8.3
アルコ瀬戸	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	25	7.2
ひらり	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	6.9
IMC 北新田	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	6.9
愛結こうち	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	4.0
マイガーデン	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.4
ときめき	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.4
うぐるす	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.4
ながおか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.4
こはる	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.4
暖	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	11	3.2
旧) いこう家		1	1	1	1	1	1	1	1				8	2.3
むすび葉			1	1	1	1	1	1	1				7	2.0
奏							1	1	1	1	1	1	6	1.7
ふれあいのさと結							1	1	1	1	1	1	6	1.7
新) いこう家										1	1	1	3	0.9
合計	27	29	29	29	28	27	29	31	30	28	29	33	349	

【認知症対応介護】

地球 33 番地	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	100.0
合計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	

【通所リハビリテーション】

青柳	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	32.9
こうせい	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	16.4
あいおい	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	16.4
いとう	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	11	15.1
さんさん	1	1		1	1	1	1	1	1	1		1	10	13.7
南国中央病院											1	1	2	2.7
南国病院										1	1		2	2.7

合計	6	6	5	6	6	6	5	6	6	7	7	7	73	
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	--

※通所介護の傾向として、日曜日利用可能施設を希望する傾向がある。

②訪問介護・訪問看護・訪問リハビリ・入浴事業所

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計	割合 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
<b>【訪問介護】</b>														
あおやぎ	9	10	10	9	9	8	9	9	10	10	10	10	113	28.6
ほのか	7	7	7	7	8	7	7	7	5	4	4	4	74	18.7
なかよし	3	3	3	3	3	3	3	3	2	1	2	2	31	7.8
はる	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	6.1
ニチイ高知東	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22	5.6
やまもも				1	2	2	2	2	2	2	2	2	15	3.8
フレンズ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.0
ウエルライフ上町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.0
ニチイ南国	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.0
りんくす	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.0
ニシダ順天堂	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	11	2.8
ゆいまある	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1			11	2.8
ニチイ高知				1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	2.3
万々の恵				1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	2.3
ベターライフ	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9	2.3
ソレイユ	1	1	1	1	1	1	1						7	1.8
トマトの樹				1	1	1	1	1	1				6	1.5
Reborn										1	1	2	4	1.0
ひだまり		1	1									1	2	0.5
合計	30	32	33	35	37	36	35	35	32	31	30	31	395	
<b>【訪問看護】</b>														
海の里	6	6	8	8	8	8	8	7	6	6	6	5	82	29.2
誠	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	12.8
リカバリー	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	25	8.9
Mast			1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	19	6.8
POSTONz	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	14	5.0
城見	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	13	4.6
いずみの病院	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.3
はる	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.3
たかす	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.3
そらとこころ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.3
心愛	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		11	3.9
AID	2	2	2	1	1	1	1						10	3.6
えん					1	1	1	1	1	1	1	1	8	2.8
はっぴー&へるす	1				1	1	1	1	1	1			7	2.5
カルナ								1	1			1	3	1.1
しもぢ							1	1					2	0.7
こうせい												1	1	0.4
Lien		1											1	0.4
合計	21	21	23	24	26	25	26	25	23	22	22	22	280	
<b>【訪問リハビリテーション】</b>														
うめのつじ	3	3	3	4	3	3	3	2	3	3	3	3	36	94.7
すこやかな杜								1	1				2	5.3
合計	3	3	3	4	3	3	3	3	4	3	3	3	38	

【定期巡回・訪問介護看護】															
アート	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25	53.2
はっぴい&へるす						1	1	1	2	2	2	1	10	21.3	
ナースケア	1	1	1	1	1	1							6	12.8	
ナースケアいろは							1	1	1	1	1	1	6	12.8	
合計	3	4	3	3	3	4	4	4	5	5	5	5	47		

※訪問看護ステーションが多くなっている。

治療が終われば退院するケース多く、退院後から看護師の関わりの必要なケースが増えてきている。

### ③短期入所生活介護・短期入所療養介護

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計	割合 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
【短期入所生活介護】															
早蕨	8	11	11	14	15	10	14	15	13	14	13	12	150	62.5	
海の里	6	5	4	2	1	2	2	2	4	4	2	4	38	15.8	
トマトの樹	2	2	2	3	2		1	2	1		2	1	18	7.5	
しなね	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	5.0	
グランボヌール	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	11	4.6	
絆の広場	1		1		1	1	1	1		1	1	2	10	4.2	
そよ風								1					1	0.4	
あったかケアみずき (老健)		1	1			1	1			1	1		6	100.0	
合計	19	21	21	21	20	16	21	23	20	22	21	21	246		
【短期入所療養介護】															
あったかケアみずき (老健)		1	1			1	1			1	1		6	100.0	
合計		1	1			1	1			1	1		6		

※感染時の待機期間が短くなった事業所もあるが、利用者数に変化はみられなかった。

った。

### ④福祉用具貸与事業所

(単位：人)

	令和5年										令和6年			合計	割合 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
トーカイ	17	17	17	17	17	18	19	19	21	20	19	20	221	22.5	
土佐ガス aico	15	14	14	13	13	13	15	15	15	15	16	17	173	17.7	
アルフレッサ	13	13	12	13	11	10	11	11	12	12	13	13	144	14.8	
翼高知	6	8	9	8	8	8	8	9	10	10	10	10	104	10.7	
PLASS G	3	5	6	5	7	9	9	10	9	13	13	13	102	10.5	
四国医療	7	6	6	7	8	8	8	8	8	8	8	7	89	9.1	
共栄医療器	5	5	6	5	6	6	6	6	5	5	5	5	64	6.6	
マサキウエルフェア	1	2	2	2	2	2	2	2	4	4	3	3	29	3.0	
オフィスウエハラ	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22	2.3	
ミニバック	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	2	17	1.7	
石原産業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.2	
合計	71	73	74	74	76	78	81	85	89	92	91	93	977		

※担当利用者の増加に伴い、福祉用具利用者も増加している。

⑤居宅療養管理指導

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計	割合 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
みなみ在宅クリニック	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48	29.8
ひまわり在宅クリニック	3	3	3	3	3	2	2	1	3	3	3	2	31	19.3
あじさい薬局	2	2	2	2	2	1	2	2	2	1	2	1	21	13.0
高知生協病院	2	2	2	1	2	2	2		1	1	1	1	17	10.6
エール薬局たかす	2	2	2	2	2	2	1	2			1	1	17	10.6
上町薬局	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	7.5
エール薬局かづらしま	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	7.5
ブルークロス	1	1											2	1.2
つちばし薬局								1					1	0.6
合計	16	16	15	14	15	13	13	12	12	11	13	11	161	

※受診困難な利用者に訪問診療や薬剤師の訪問サービスを紹介し、定期受診・服薬管理の支援が行えた。

(5)新規利用者・修了者の動向

①新規利用者

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
予防給付	2	1	3		2		2		2	1	2	2	17
介護給付	2	5	5	3	4	3	5	4	7	1	1	0	40
合計	4	6	8	3	6	3	7	4	9	2	3	2	57

※包括支援センター、病院からの紹介あり、新規利用者は増加している。

②終了者

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
死亡					1			1				1	3
入所		1	1	2	1			1					6
入院	2	1	4		2	1	1		2				13
その他						1			1	1			3
合計	2	2	5	2	4	2	1	2	3	1		1	25

4. 年間研修実績

(1)外部研修 (Z o o m研修も含む)

①東部ブロック会

実施日	場 所	研修内容	参加人数	
令和5年	4月20日	高知市保険福祉センター	高知市居宅介護支援事業所協議会総会	2名
	6月8日	東部健康福祉センター	キャリアラダー活用	1名
	7月13日	東部健康福祉センター	ノーリフティングケア	1名
	8月25日	東部健康福祉センター	BCP	1名
	9月15日	東部健康福祉センター	見える事例検討会	1名
	10月12日	東部健康福祉センター	社会資源	1名
	11月15日	東部健康福祉センター	次年度ブロック会の運営	1名
	12月15日	東部健康福祉センター	スーパービジョン	1名
令和5年	2月8日	東部健康福祉センター	成年後見制度	1名
	3月13日	東部健康福祉センター	若年性認知症	1名

<延べ参加者数：11名>

②スーパービジョン

実施日	場 所	研修内容	参加人数	
令和5年	4月28日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	1名
	5月19日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	1名
	6月23日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	1名
	7月28日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	1名
	8月18日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	1名
	9月22日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	1名
	10月27日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	1名
	11月22日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	1名
	12月22日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	1名
令和6年	1月26日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	1名
	2月21日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	1名
	3月22日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	1名

<延べ参加者数：12名>

③その他

実施日	場 所	研修内容	参加人数	
令和5年	4月26日	地域交流室 (Zoom)	高齢者福祉施設・事業所における虐待防止	1名
	5月26日	高知市保健福祉センター	キャリアラダー	1名
	7月7日	あんしんセンター	入退院引継ぎルール	1名
	7月28日	あんしんセンター	ゴミ屋敷	1名
	8月8日	地域交流室 (Zoom)	認知症ケア	1名
	10月11日	高知市保健福祉センター	防災研修	1名
	10月18日	サンピアセリーズ	安全運転管理者講習	1名
	10月29日	高知市保健福祉センター	グループスーパービジョン	1名
	12月12日	あんしんセンター	訪問型サービスC	1名
	12月15日	地域交流室 (Zoom)	医療との連携	1名

<延べ参加者数：10名>

(2)内部研修

実施日	場 所	研修内容	参加人数	
令和5年	4月19日	集合	食と口腔ケアについて、誤薬について	4名
	5月10日	紙面	感染症予防について	4名
	6月21日	集合	災害対策について	4名
	7月19日	紙面	ノーリフトケアについて	4名
	8月16日	紙面	高齢者虐待、身体拘束、事故防止について	4名
	9月20日	紙面	施設理念、コンプライアンスについて	4名
	10月18日	紙面	感染症について	4名
	11月15日	集合	高齢者の方とのコミュニケーション	4名
	12月20日	集合	医療の知識	4名
令和5年	1月17日	紙面	高齢者の楽しめるレクリエーション	4名
	2月21日	紙面	高齢者虐待、身体拘束、事故防止について	4名
	3月13日	紙面	認知症ケアに潰え	4名

<延べ参加者数：48名>

※施設外研修は集合研修が増えた。オンラインでの研修の利点もあり、集合とオンライン同時に行う研修体制もある。

内部研修は、前年度同様に全員参加が出来た。

5. 総括

(1)介護保険の目的に沿って、自立した生活を継続し、要介護状態の軽減・悪化予防をするために、適

切な保健医療サービス、福祉サービスが総合的かつ効率的に提供されるように、利用者を継続的に支援することに努めた。

- (2)新型コロナウイルスの感染対策として、モニタリング等訪問時は利用者にマスクの装着を促し、換気、短時間の訪問等予防対策に努めたが、職員 1 名が感染したが、リモートワークで業務を行う事で、利用者の支援を継続的に行えた。
- (3)令和 5 年度目標実績数の要介護者 125 件/月・要支援者 25 件/月に対して、令和 5 年度の実績数は要介護者 126 件/月・要支援者 30 件/月と目標を達成した。下半期から要介護者について、130 件/月を超える月もあり、現状を維持しながら、質の高い支援ができるように、事業所内での知識の共有や自己研鑽に努めた。
- (4)統合的なアセスメントを実施しながら、個々の生活課題に対する目標が達成出来るように、研修の機会を持ち、毎週行われている居宅会議では、困難ケースの具体的な処遇の方針やマネジメントに関する技術の向上に繋がるように、互いの意見交換や伝達講習など行う事で、介護支援専門員としての資質の向上を図った。職員の中には高知市居宅介護支援事業所協議会・東部ブロック運営委員・資質向上委員主任ケアマネの会・東部事例勉強会の役員として研修等の立案や運営に携わり、ケアマネジャーの質の向上に寄与した。地域ケア会議や各種研修等に積極的に参加し、地域住民・他事業所のケアマネジャーとのつながりを深め、多様な情報や知識の収集を図ることが出来た。
- (5)法人で行われている各種委員会の参加により、法人の活動や取り組みについて意識を持ち、委員会の内容は事業所内で共有することが出来た。
- (6)デイサービスと定期的に話し合いを行い、地域に選ばれ・頼られる施設になる為にどのような活動や取り組みを行うか、法人として介護サービスの質の向上に努めた。
- (7)地域との交流を深めるため、田役の参加や、エコマックの配布等地域との交流を深めた。
- (8)法人行事（敬老会・花見外出）等特養入居者の楽しみや喜びにつながる行事のサポートを行った。
- (9)防災訓練に全員参加し、災害時の対策と対応を学び、実践に活かせるよう真剣に取り組んだ。

## 地域連携室さわらび 事業報告書

### 1. 令和5年度 運営方針

- (1)法人の専門性・設備・機能を生かしながら、地域の中でさわらびがあつてよかつたと多くの皆様に思つて頂けるよう役割を果たす。
- (2)地域の「困つたな」をそのままにしない。
- (3)利用者や家族、住民の何気ない一言やつぶやきにアンテナを張つて聞き逃さない。

### 2. 令和5年度 業務内容

- (1)地域の相談窓口対応
- (2)地域で開催される会合や行事への参加
- (3)宅老所や老人クラブ等の交流や支援
- (4)ボランティアや社会参加等、活動のきっかけ作りとなる機会や場の提供
- (5)さわらびの存在が地域の社会資源として機能していく為のニーズの聞き取り
- (6)防災活動に地域と共に取り組める関係づくりと連携強化
- (7)田役への参加
- (8)ほうちょけん相談窓口対応

令和5年度 基本方針・稼働率目標に基づいた業務内容を次のように行った。

## 令和5年度 事業報告

### 1. 事業内容

(1)営業日及び営業時間 月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時30分  
※但し、12月29日から1月3日は除く

#### (2)職員体制

室長 1名（常勤）

### 2. 相談対応

(1)令和5年度は、電話や来設による相談対応は29件（前年度25件）であった。相談内容としては、介護保険に関することや生活に関する相談が中心で、必要に応じて包括支援センターや居宅介護支援事業所等への連携を図った。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護			1							1			2
生活						1						1	2
その他	1	3	2	3	2	2	2	3	3	2	1	1	25
合計	1	3	3	3	2	3	2	3	3	3	1	2	29

(2)高知市からの要請を受け、開設している「ほおっちょけん相談窓口」の相談実績は、令和5年4月～令和6年3月末までの間で8件（前年度7件）であった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	0	2	1	0	2	0	0	0	1	1	0	8

#### (3)地域活動

- ①高須地区民協定例会への参加（毎月）
- ②高須老人会、ミニデイ活動の後方支援や参加協力
- ③五台山地区田役（年2回）
- ④五台山ふるさと夏まつりへの参加協力
- ⑤五台山ふれあい展への作品（デイサービスセンターこぬれ） 出展
- ⑥青柳中学校と地域住民と共に絶海池周辺の清掃活動に参加
- ⑦地域住民を交えた防災訓練開催

### 3. 総括

これまで長引くコロナ禍で地域との交流や活動が極端に少なくなりましたが少しずつ様々な行事等が復活してきており、地域の中でのつながりや支え合う大切さを再認識する一年であった。

コロナ禍を経験した中で得た気付きや工夫などを活かして、継続している取り組みを引き続き行い、地域や人と人とのつながりの強化を意識した活動に努めた。

相談支援においては、地域住民の視点（目線）に寄り添った対応や支援を心掛けて「困りごとの解決」に取り組んだ。